



愛知陸協広報

第15号

21年9月30日発行

愛知陸上競技協会

〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目19番16号千代田ビル7F

電話 (052) 249-4363 ファックス (052) 249-4366

e-mail ark@marble.ocn.ne.jp

ホームページ: url <http://gold.jaic.org/jaic/member/aichi/>

がんばる高校生

インターハイで最高の喜びが

名古屋高チームが4×100mR 伊澤さんが3000mで優勝



優勝して満面の笑みの名古屋高チーム

名古屋高チーム (40秒75)

第1走者 古池 勁太選手 (写真右)

今回の4×100mRで僕たちが優勝できたのは、補欠のメンバーを含めた6人が、同じ気持ちで戦った結果だと思います。

最後のインターハイを、最高のチームで走ることができ本当に嬉しく思います。

第2走者 三浦 豊成選手 (写真右から2人目)

チーム内で最高のライバル達がいたからこそ、自分は最高の走りができました。チームのみんなに感謝の気持ちでいっぱいです。

第3走者 中村 健太選手 (写真左から2人目)

4人がそれぞれの持ち場で、役割を果たせた事が結果につながりました。

これからも、名古屋高校のリレーを、後輩達に受け継いで行って欲しいです。

第4走者 渡辺 将志選手 (写真左)

今回のインターハイを終えて、友達に何度も「緊張した?」と聞かれました。

他の学校が緊張感をガラガラさせていた中、僕達は普段通りの日常会話をし、4人で緊張するどころか笑いあっていました。いつどこにいても、自分達らしさを出せたことが優勝に結びついたと思います。そして支えてくださった方々のおかげであると感じています。

伊澤菜々花選手 (9分15秒65) 豊川高

高校での1つの目標としていた『インターハイ優勝』を見事達成することができました。決勝ではタイムより順位にこだわり、勝つイメージだけをしていました。森監督からも「勝てるぞ」という強い言葉をいただき、その気持ちでレースに挑みました。1番でゴールしたときはうれしさでいっぱいでした。これも私に関わってくれた方々、応援してくれた多くの方々のおかげでこのようなすばらしい結果を残せたのだと思います。ありがとうございました。



力走する伊澤選手 (ナンバーカード⑭)



上半期を終えて

理事長 外山 幸男

梅雨が長引いたこの夏、競技会は幸い好天に恵まれ選手の活躍がみられた。全国大会では、ベルリン世界陸上選手選考競技会の日本選手権（広島広域）に愛知から38名の選手がエントリーし、好コンディションのもと、室伏広治選手がハンマー投で15連覇を成し遂げ代表になった。他に七種競技1位の中田有紀選手、男子10000m2位の中尾勇生選手、3位の尾田賢典選手、110mHでは3位内藤真人選手始め3名が決勝へ進出し、女子ハンマー投・円盤投の両種目1位の室伏由佳選手の活躍がありました。

県大会は小学生リレー大会、中学通信陸上、ジュニアオリンピック大会等と毎週実施し、69回を数えた愛知陸上競技選手権大会は、最優秀選手賞に、男子はやり投の下り藤修太選手（小島プレス）、女子は円盤投の室伏由佳選手（ミズノ）を選考しました。この大会では、長年にわたり愛知陸上競技協会の競技会運営、選手強化に尽力された60才以上の方々に会長表彰を行なってきました。各支部から推薦された方々です。今年は、梅村清弘会長から一人一人に会長賞を手渡していただきました。表彰された方々の今後のさらなる活躍と、愛知陸協へのご協力をお願いします。

ジュニア選手の活躍を見ると、高校生では、7月の世界ユース選手権（イタリア）に200mで林雅人選手（一宮高）が準決勝まで進出。日韓中ジュニア競技会（韓国）に800mで竹内麻里子選手（中京大中京高）が出場。

全国高校総体（奈良）では男子4×100mRで名古屋が優勝、中京大中京が2位と上位を占める活躍であった。3000mでは伊澤菜々花選手（豊川）が優勝。

全国中学総体（大分）には、昨年に比べ11名増の69名の参加標準記録を突破した選手が出場。200mで優勝した河室裕貴選手（弥富）が準決勝で中学日本記録に0.01秒に迫る21.37の大会新記録を樹立した。この秋の大会で新記録樹立が大いに期待できる。

8月の愛知陸協理事会において、10月の「トキめき新潟国体」の選手団が決定しました。選考対象の大会での成績に基づき、ベストメンバーで編成しました。選手は、好記

録が期待できる国体でぜひ自己ベストの更新に挑んでください。国体強化合宿から国体当日と、監督・コーチの方々、各選手指導者のご尽力に感謝し、「チーム愛知」としての活躍を期待しています。

1,573名の選手を迎えた全日本マスターズ大会は、残暑の3日間、皆様のご協力で万全の体制で運営し、無事終了できました。

今後とも選手強化、競技会運営にご協力をお願いします。



浜島君の逝去で思い出された大分国体

副会長 國分 一郎

心から浜島聖治君のご冥福をお祈りいたします、私は昭和37年の岡山国体、昭和38年の山口国体、昭和40年の岐阜国体、昭和41年の大分国体と愛知県陸上競技選手団のマネージャーをやりました。当時は宿泊施設が十分でなく、山口国体等は十数軒の家に分かれて民泊をしました。

当時は成年・青年の部とあったように思いますが、昭和41年の大分国体の時、浜島聖治君は、青年の部の競歩で2位になりました。彼は、この当時日本のトップレベルの競技者でした。上位入賞を喜び合ったことを覚えています、同時にいろいろなことが思い出されます。

東海広告（株）には、高橋公一氏の前の社長がおられまして、社業が忙しく高橋公一氏は、監督でも選手団と一緒に出かけられず、遅れて飛行機で大分空港まで来られました。その時の飛行機はYS11で戦後最初の国産機でした。プロペラ機でエンジンの音が大きかったことと、タラップの近くまで出迎えに行けたことを覚えています。また監督は飛行機で来られていいなと思ったものでした。

当時、愛知陸協の会長は、トヨタ自販（株）の副社長青木好之氏で、トヨタ自販大分に働きかけていただき、クラウンの貸与を受け、愛知陸協旗をなびかせて走っていました。

当時は各県チームのテントは無く、こちらから持ち込み、有利な場所を見つけて早く張り合いました。

国体が終わって荷物を駅に持って行き、チッキ（列車の切符を買えば、安く荷物が送れた）で発送した後に倒れそうになりました。以上のようなことが思い出されました。

支部報告

名古屋支部

上半期を終えて、中学・高校生の若い選手層の活躍が目だった。全日中（大分）へは、男子18名・女子9名、リレー男女各1校が出場権を得た。全国IH（奈良）へは、男子22・女子24種目の出場があり、男子4×100mリレーでは名古屋と中京大中京が1・2位を独占した。入賞者も県内他支部よりも多く出すことができた。各校の指導者の方に感謝すると共に、今後一層の活躍を期待する。今夏の世界陸上に刺激され、名古屋支部の若い選手諸君も、少しでも世界の一流へ近づくことを願っている。

1 全国IH入賞者（男子4名・女子3名、リレー3校）

※丸数字は、8位までの入賞順位

三輪将之（中京大中京、100m⑤） 山口浩勢（惟信、3000mSC⑧）
 木本皓貴（名古屋、ハンマー投⑥） 小野顕佳（名古屋、やり投②）
 4×100mR（名古屋、①） 4×100mR（中京大中京、②）
 竹内麻里子（中京大中京、800m③） 炭水土里（千種、走高跳⑤）
 高塚裕子（名城大附、やり投⑦） 4×100mR（中京大中京、⑧）
 2 東海中学総体・3位入賞者（男子6名・女子2名、リレー・4校）

※丸数字・3位までの入賞順位

宮崎海悠（春日井知多、200m③） 兼松哲大（高針台、800m①）
 木下雅裕（知多八幡、3年1500m④） 金尾圭祐（東港、3000m①）
 角田 涼（豊正、110mH①） 青山耕也（森孝、走高跳③）
 西川かりん（富貴、800m②） 榎原小佑希（河和、走高跳②）
 男子低4×100mR（東海③）

男子共通4×100mR（男子、東海①・鳴海③）

女子共通4×100mR（長良②）

3 今後の主な競技日程（10月以降）

10/17・18 名古屋支部選手権大会（瑞穂）

12/5 愛知県市町村対抗駅伝大会(愛・地球博記念公園)

4 お願い

選手を育てるのも指導者、大会運営をするのも指導者。指導者は、ぜひ審判員としてのご協力をお願いします。

最近、公認審判員の服装が乱れています。正しい服装でのご協力をお願いします。(坂井田醇三)

尾張支部

上半期を終えて

1 尾張支部は支部管内所属の選手諸君の活躍に対して、年2回の顕彰を行なっています。対象は全国大会規模の大会に出場した選手というのが条件になります。平成21年度上半期もすばらしい成績を取めました。後半は国体を始め全国規模の大会が開催されます。期待はふくらむばかりです。

<2009年全国大会出場等の顕彰選手>

①第6回世界ユース陸上競技選手権大会(イタリア)

林 雅人(一宮2年) 200m 21.79(準決勝)

②第62回全国高校総体陸上競技対校選手権大会(奈良)
(記録は自己最高記録)

林 雅人(一宮2年) 200m 21.47

森 祐也(津島3年) ハンマー投 52.64

木村 洋介(弥富2年) 5000mW 22.29.21

③第36回全日本中学陸上競技選手権大会(大分)

河室 裕貴(弥富中3年) 100m 10.81

200m 21.37

於久 幸大(扶桑中3年) 3000m 8.58.74

坂本 憲哉(奥3年) 走高跳 2.00

堀 舞花(祖父江2年) 800m 2.14.27

高橋 季香(葉栗3年) 800m 2.14.50

清野 菜名(明治3年) 走高跳 1.57

田口可奈子(木曾川3年) 走高跳 1.57

④全国小学生大会にも出場。詳細は次号で掲載します。

◎古知野中学校陸上部は7月に実施された愛知県中学総体陸上競技大会で男子総合優勝、女子5位を果たしました。おめでとうございます。今後のますますの活躍・健闘をお祈りします。

2 愛知県一宮総合運動場陸上競技場の使用状況について

平成21年度の競技会を上半期2回実施しました。芝養生のため、10月の尾張選手権開催が全施設使用となる予定です。まだまだ施設環境は十分とはいきません。施設、備品等管理者である県や競技場関係者と継続的に折衝していきます。

3 表彰について

第69回愛知陸上選手権大会で2名の方が平成21年度愛知陸上競技協会会長表彰を受賞されました。尾張支部はもちろん、愛知の陸上競技の発展にご尽力いただきました。今後も健康に留意されご活躍を祈念いたします。誠にありがとうございます。

森本 治郎(五条高校勤務)

神田 邦男(豊田合成陸上部監督)

4 訂正

①広報13号記載の尾張支部報告1行目

平成6年 → 平成7年

ホープさん⑨

林 雅人君(一宮高2年)

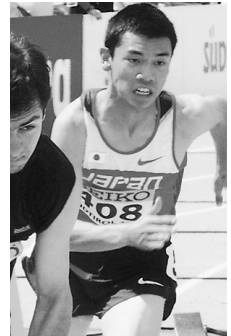
彼が陸上競技を本格的に始めたのは、高校に入学してからである。中学校時代は陸上部がなく、野球部に所属していた。駆り出されて陸上競技の試合に出たことはあったものの、目立った戦績はない。しかし、逆にそれが陸上競技への思いを強くしたようで、「陸上競技で」活躍したいとの思いから陸上部に入部してきた。力が付いてきた今は、全国的な場でのタイトルが欲しいと口にするまでになっている。

彼が頭角を現したのは、昨年の新人戦であった。尾張地区では200mが22.56で優勝、400mが50.13で2位。県大会では200mが22.35で4位、400mが50.01で5位となったのである。さすがに東海新人では入賞は難しいだろうと思われていたのだが、200mが22.30で6位、400mが49.77で6位と健闘し、冬季トレーニングの意欲をかき立てることができた。冬季トレーニングは走り込みの本数が多くなるのだが、彼のいいところは1本1本の集中力である。常に先頭に立って他の部員を引っ張る走りが力付いたのであろう。春の総体からは、周囲の注目を集めるような記録を立て続けに出した。尾張地区では100m、200m、400mの個人3冠、しかも200m(21.96)と400m(48.76)は大会新記録であった。リレーでも大黒柱として活躍し、400mRでは2位、4×400mRでは優勝した。県総体では200m4位(21.72)に入り、4×400mRでも5位となった。圧巻は、東海総体である。200mで21.47の2位。4×400mRの予選のアンカーとして47.03のラップ(手元のタイム)で回り、決勝進出の原動力となった。この時の200mの記録は日本陸連の目にとまり、愛知県では唯一の世界ユース選手権(イタリア)の日本代表に選ばれた。世界ユースでは準決勝で0.03及ばず決勝進出を逃したが、貴重な体験を積むことができた。世界ユース、愛知選手権と試合が続く中で鍛錬期間を失ってしまい、全国総体では思うような走りができなかったが、これも来年の全国総体(沖縄)に向けてよい経験になった。

彼の走りのよいところは、福島千里選手(日本記録保持者)のような下半身の動かし方にある。福島選手は大腿部、お尻などの体幹に近い部分を全部使ってスイング動作をし速いピッチを得ているのだが、これに近い動きができていのである。大きな筋肉をうまく使っているためにピッチが得られるばかりでなく、スタミナの消耗も抑えられている。また、足の接地と腕振りのタイミングのよさも記録を生む材料となっている。これには、3つのポイントがある。1つめは、脚を上げるよりも降ろすことを強く意識していること。2つめは、接地と同時に上半身が乗り込み、1本の棒となって強い反力を地面から得ていること。そして3つめは、接地と同時に肘が体側に来ることでガツンと地面に力を加えられていることである。これらのことを一言で言うならば、力の使い方がうまいということになる。

全国総体で思うような走りができなかった悔しさが、今はトレーニングの意欲をかき立てている。夏に鍛え直した力で、この秋には更に記録を縮めてもらいたい。私はそう願っている。そのことが冬季トレーニングにつながり、ひいては来シーズンの活躍につながるものだから。

(一宮高校陸上部顧問 大西 敏功)



世界ユースでの力走

シーズンの初めは、昨年の記録を超えようとして力みが出てしまい、うまく走ることができませんでした。しかしいろいろな方のアドバイスを聞き、そのおかげでここまで来れたと思います。世界ユース選手権、全国総体とあまり満足できる結果ではありませんでしたが、経験の少ない自分にとって大きな収穫だったと思います。この経験を生かし、さらに上を目指して、これからも頑張りたいと思います。

(林 雅人)

②広報14号記載の尾張支部報告<平成21年度尾張支部
新役員・新理事>

平尾 淳(理事、施設資材専門委員会委員長)→
(理事、選手強化委員会委員長)

(原川 豪)

西三河支部

梅雨が明けないうままインターハイを迎えましたが、西三河からは、岡崎城西・岡崎・豊田大谷・岡崎商業・安城学園より10種目で参加しました。昨年の岡崎城西の活躍がすばらしかっただけに、若干寂しい感もありましたが、岡崎城西の山本聖途(棒高跳6位)・中嶋文聖(走高跳8位)、岡崎の壁谷智之(400m8位)と頑張ってくれました。

新潟国体には、成年3000mSC加藤 聡(トヨタ自動車)をはじめ大学・高校生など多くの選手と、3名の監督・コーチの先生方とともに参加予定です。とくに女子4×100mRは、河原崎(日体大)・市川(中京大)・後藤(岡崎城西高)と3名が支部関係者ですので、こちらも期待しています。

全国中学選手権(8月22日~大分)には、保見の谷(100mH)をはじめ男子11名・女子5名が参加しました。県で上位の記録を出して出場の選手が7、8名も含まれていました。

全国小学生リレー大会にも、安城JAC(女子4×100mR)が参加しました。

7月には安城市主催で陸上ふれあい交流会が開催され、中京大学青戸先生と学生1名・安城学園早川先生の指導により、小中学生300余名の参加のもと実技・競技観戦と有意義な一日を過ごすことができました。参加してくれた小学生4、5年の選手は、平成25年に愛知で開催が予定されています全国中学選手権の主力選手になってくれることを願っています。

当支部は、豊田・安城・刈谷と全天候トラックを有する競技場に恵まれてきましたが、競技場・設備等の老朽化により今後の競技会開催に支障が出てくる事が予想されます。来年度は、ウエーブスタジアム刈谷を中心にお願することになると思います。

財政的に大変厳しい時期ではありますが、各大会が円滑に運営できるよう、各市の関係者に格別のご理解をいただきたいと思ひます。

(柴田 和秀)

東三河支部

小中高の歯車がかみ合った上半期

今年度の上半期を振り返ってみると、ここ数年間の小学生を対象としたクラブチーム・中学校・高等学校の連携の成果が、とてもよく出てきたということを実感しています。

小学生を対象としたクラブチームでは、豊橋陸上クラブ・田原陸上教室・JACあつみ・豊川陸上教室・蒲郡クラブ・新城陸上クラブ・TTランナーズの7クラブがお互いに刺激し合いながら普及と強化に励んでいます。その結果、神奈川・日産スタジアムで8月28日・29日に行なわれた全国小学生陸上競技交流大会に、3クラブから4名の選手が出場を果たしました。

中学校では、毎年8月の長野での長距離合宿・12月の渥美での冬季合宿・3月の蒲郡での春季合宿を行ない、各中学校の指導者と生徒がともに刺激あって、指導力や競技力の向上を目指しています。これらの合宿には、高校の

指導者も参加して中高の連携を密にしています。その結果、大分スポーツ公園で8月22日~24日に行なわれた全日本中学校陸上競技選手権大会に、9校から10名の選手が出場を果たしました。

高等学校では、専門的な知識を持った指導者のもとで、3月に豊橋で合同合宿を行ない、各校が切磋琢磨しあって競技力を高めています。その結果、奈良市鴻ノ池陸上競技場で7月29日~8月2日に行なわれた全国高等学校総合体育大会に、5校から14名の選手が出場を果たしました。そして、女子3000mで小学生時代豊橋陸上クラブのチームメイトだった豊川の伊澤菜々花選手が優勝し、時習館の鈴木亜由子選手が8位に入賞しました。また、男子1500mでも豊川工業の小島秀斗選手が8位に入賞しました。

小中高それぞれの立場で、指導に携わっている方々のご努力に敬意を払いたいと思ひます。

(兵藤 重二)

専門委員会報告

競技・情報処理委員会

「上半期の競技を終えて」

4月の国体選考競技会をはじめ8月の県ジュニアオリンピックまでの愛知陸協が主催・主管するトラック競技で多くの県新記録が出ています。参加していただいた選手・監督の皆様の方によるものと感謝しています。また、この9月に行なわれた「全日本マスターズ大会」は、2000mSC・200mH・重量投などの特殊な種目があること、また同一種目でも年齢カテゴリーによってハードルの高さが異なったり、複数のカテゴリーを1つのレースで行なうなど、種目・運営面で複雑性・特殊性を持つ大会でした。マスターズ連盟の協力と審判の方々の事前の研究・準備などの努力で無事運営することができました。この場を借りてお礼申し上げます。

競技運営においては、走幅跳・三段跳での光波測定が定着、県中学総体のコンピュータでの運営、決勝記録(トップリスト)の自動作成など競技運営の効率化をすすめることができました。しかし、プログラム作成など競技準備の効率化をはかることが重要課題として残っています。昨年度から実施している、名岐駅伝のHP上からのエントリーする方式を他競技にも広げていく必要があると思ひます。しかしこの場合、新たなサーバーを設置する必要があるなど、費用が発生していくので、対費用効果を考えながら改善策を策定していきたいと思ひています。

上半期の競技運営をする中で、各試合における番組編成や種目の構成・試合日程などの改善要望を各方面からいただくことができました。これらの要望を今後の競技運営に生かすことで競技者が競技に集中しやすい環境をつくり、それが記録の向上につながっていくことを希望します。

今後懸念されるのは、新型インフルエンザの流行によって大会等の運営に支障が生じる可能性があることです。発熱・のどの痛みなどの風邪(インフルエンザが疑われる)症状が出ている場合には、無理に出場しない、マスクや手洗いの励行などの対策が必要であるといわれています。競技者や監督の皆様のご協力をお願いします。

(石鎚 一則)

陸上競技場めぐり

知多陸上競技場の歴史①

知多地区の名鉄常滑線西側は、新舞子、日長、古見、朝倉の海岸続きで、海水浴場としてにぎわう土地柄であった。私が名古屋から、知多市に引越してきたころは、名鉄朝倉駅がまだ下にあり線路に海水がマクラ木に流れていたのを覚えている。のちに高架になり、朝倉交差点ができた。

昭和45年には岡田・旭、八幡地区が合併して知多市になり、今の知多市役所が完成した。すでに体育館・テニスコート・陸上競技場があり、陸上競技場は砂土で6コースだった。またスタンドは土手になっており、木も植えてなく、西側を見ると臨海の企業群と新舞子の海が見えた。審判役員室は厚いコンクリートの風通しの悪い部屋で、夏は暑く、冬は寒かったことを覚えている。

その頃は競技会が少なく、小学校、中学校の大会ばかりで、ほとんど瑞穂競技場で行なわれていた。

昭和52年3月25日、第3種公認陸上競技場としてスタンドと管理棟が完成した。昭和56年3月までは土のグラウンドで、雨が降ると田んぼの中を走っているのと同じで、メガネにスパイクのドロが付きメガネをふきふき走っている状態であった。近藤市長（故人）が見ておられて、私になんとかならないかと言われた。私は陸上関係者に前々から知多を早く全天候型にしろと言われていたので、ここぞとばかり、「市長さん、こんな田んぼのグラウンドは知多市だけだよ」と申し上げた。今の加藤功市長が、前スポーツ課長の時だった。市長から、私とスポーツ課長で全天候型にするといくらぐらいかかるか調査して、報告しろと、言われた。その当時の榎原教育長と3人で瑞穂、松阪競技場を見学し、建設費用等々の報告を申し上げたところ、競技場を作れとなった。当時郵政大臣であった久野忠先生（故人）が、中に入っただき、近藤市長・加藤スポーツ課長と連絡を取ってご尽力いただき、昭和58年度公立社会体育施設整備事業（国庫）の補助金78,000,000円受けることができたことに感謝している。

58年9月23日に始まった工事が59年3月15日に終了し、全天候型第3種公認競技場となった。その時、付属20km公認コースも設定した。その記念に、昭和58年11月13日（日）知多市体育館前を発着点として第5回東海学生ロードレース大会10km・20kmを開催した。

昭和60年3月25日メインスタンドと管理棟の改修工事が完了し、昭和60年4月1日に日本陸連第2種陸上競技場（全天候型）となった。

次回は県高校駅伝、定時制大会、中学校大会、東海学生大会、デカスロン大会等についてご報告します。なお県高校駅伝大会は、知多市に来て今回男子30回、女子13回となり、また、デカスロン大会は11回になります。（江藤 照雄）

施設・用器具委員会

第2回施設用器具委員会を7月1日（水）に協会事務所に於いて開催しました。外山理事長の挨拶から始まり、各陸上競技場の諸問題を中心に2時間にわたり情報交換をして、中身の濃い会議になりました。主な内容を報告します。

出席者

青木、平川、篠原、岡本、桑原、秦、江藤、延永、谷口、吉越、吉田、田嶋、伊藤、小山田、太田、澤辺

内容

- 1 ルール修改正の確認について
- 2 検定スケジュールについて
- 3 各陸上競技場の諸問題について

一宮：全天候型競技場に合わない旧規格のものを使用しているため不都合がある。（円盤・ハンマー用のネット、スタブロ、ハードル、ハードル運搬車等）スタート発信装置、写真判定室と記録室の連携、超音波風力計測器の遠隔装置が無いので、整備したい。

知多：ハードルの故障が多いので、試合用ハードルと練習用ハードルを区別する方向にしたい。



走幅跳計測講習会

刈谷：芝生面の高さ調整（7/25検定）。

安城：パラソル不足。雨天後トラックの掃除。バック側に芝生スタンドと8レーンの間に囲い柵を設置したい。来年検定予定。

豊橋：トラック全面改修の予定。写真判定装置の更新を希望する。

豊川：新設3種公認として設計に入る（写真判定装置の要望をしている）。

豊田：写真判定装置の故障（今後の方向性が見えない）。

岡崎：今後の方向性が見えない（延期願い～2010/3/31）。

田原：新陸上競技場の建設案がストップしているため、写真判定装置の導入を要望している。

瑞穂：新ハードルの故障が多い。

（対応案）新ハードルを県レベル以上の大会に使用する。旧ハードルを支部レベル・中学生の大会に使用する。

4 その他

◎写真判定のトラブル

①タイムスケジュールの過密化で精神的に余裕がないので、人為的ミスが多い。→（競技委員会にタイムテーブルの検討をお願いする）

②審判編成上の問題点：準備を含めて装置を扱える審判員が配置されていない→（審判委員会に編成の検討をお願いする）

③機器の老朽化（予算化を行政にお願いする）

④装置のバックアップがない（瑞穂では2台体制）

⑤情報に不慣れな審判員が配置されると、入力が遅れ進

行が遅れる<瑞穂>

- ⑥野外常設カメラはシーズンオフは取り外す方法が良い。
- ⑦ケーブル、コネクターの扱いを基本に戻って再確認する。
- ⑩ニシスポーツへの現場サイドのクレームやアイデアを提案することが、良い器具の開発につながる。
 - ・電動式棒高跳の運搬車
 - ・超音波風力計測器のバッテリー
 - ・写真判定装置 (バックアップ、インサイドカメラ)
- ⑩自転車計測について
 - ・犬山ハーフマラソンコース変更
- ⑩精密機器を取り扱う審判員には、講習会を実施しライセンスを与えて、固定してほしい。
 - * 審判委員会と合同で7月4日(土) 県混成リレー・レディース大会において、①風力計測(飯田) ②電動棒高跳(谷口) ③走幅跳計測(田嶋)の3部門で講習会を開催しました。(青木 実)

審判委員会

全日本マスターズ陸上競技選手権大会も無事終わり、平成21年度のトラック&フィールドも残すところわずかなりました。各審判員の方々にご協力に感謝します。

11月23日の名古屋ハーフマラソンをはじめとして駅伝、マラソンのシーズンに入ります。各大会には多くの審判員が必要となりますので、ご協力をお願いします。

B級公認審判資格講習会の2回目を、11月8日(日)に日本ガイシアリーナで行ないます。1人でも多くの教員、同僚などに勧めていただき、若い力を育てていきたいと思ひます。

今年度の実技講習会は昨年に引き続き、競歩審判の講習会を行ないました。来年度以降も全国大会が続く予定です。今まで同様に競歩審判講習会や、新たに情報処理講習会、写真判定講習会等を予定しています。詳しいことが決まりましたら、競技会等でお知らせします。特に小・中学校の先生方や若い審判員の方の参加を希望します。

最後に、2点お願いをします。1つは**審判の服装**です。競技者か観客か訳の分からない服装をしている審判員をよく見かけます。特に、教員に多く見かけます。学校での指導と試合での審判との区別をきちんとつけていただきたいと思います。他府県から異動してこられた審判から『愛知はこんな服装でいいのですか？前の県では小さな試合から服装を整えています。そうでないと注意されます。』これは観客側から見ると「ほんとの審判員なのかな?」と思われ、不審を抱かれても返答ができません。審判と指導を区別していただきたいと思います。もう1点は、審判調査はがきを必ず出すように重ねてお願いします。

審判員服装…夏季は白のカッターシャツかポロシャツ(愛知は指定のポロシャツがあります)。グレーのズボンかスカート。陸協指定の青のキャップ型帽子。黒の靴(女性の靴でかかとの高い物は不可)。胸に胸章を付ける。

(榊原 茂)

選手強化委員会

平成21年度新潟国体陸上競技は10月2日(金)~6日(火)の競技日程で新潟県ビッグスワン競技場にて開催されます。愛知県代表選手団は7月19日、8月7日の強化委員会で原案を作成し、8月10日の理事会で承認されま

した。(表 参照)

国体選手決定の経緯は以下の通りです。

- 1 成年選手：日本選手権入賞選手から決定。
- 2 教員枠選手：日本選手権入賞選手である松本選手を推薦(走高跳)。
- 3 リレー競技：男女リレーチーム編成の承認とリレー枠選手の推薦。
- 4 少年A、共通：奈良インターハイ入賞選手から決定。
- 5 少年B：インターハイ入賞選手と全国上位ランキング選手から決定。
- 6 その他：ブロック主任から推薦された選手から入賞の可能性ある選手順に決定。

インターハイでの高校生の活躍、全国中学への出場者数の増加等少年選手のレベルアップを感じさせる本年度ですが、成年選手の国体種目での層の薄さがここ2年の総合成績不振の原因となっています。しかし、リレーを含む全ての選手が入賞の可能性があり、本年も陸上愛知の力を示すことができる選手団であります。これらの選手が愛知代表に成長するまでには、多くの関係者があったことを選手、コーチ共々認識して競技してきます。ご声援をよろしくお願ひします。

平成21年度 第64回新潟国体陸上競技選手団一覽表

No.	種別	種目等	氏名	所属
1	団長	強化委員長	北村 肇	中京大中京高
2	監督	強化副委員長	森谷 晴彦	名古屋高
3		短距離コーチ(兼)	明星 光信	三好高
4	コーチ	中長距離コーチ	渡邊 正昭	豊川工高
5		障害コーチ	鈴木 潔	武豊中
6		競歩コーチ	斉藤 喜夫	名鉄
7		跳躍コーチ	寺島 貴	三好高
8		投擲コーチ	山本 雅司	豊田大谷高
9		女性部会強化担当	佐藤 悦子	時習館高
10	マネージャー	総務	占部 輝之	岩倉総合高
11			小林 諭	富田高
12	トレーナー		矢嶋 友美	T.S.S.T.T
13			阿部美由紀	T.S.S.T.T
14	成年男子	200m・400mR	服部 辰也	中京大
15		400mR	田口 博崇	中京大
16		110mH・(400mR)	内藤 真人	ミズノ
17		800m	栗津 良介	明治大学
18		3000mSC	加藤 聡	トヨタ自動車
19		10000mW	杉本 明洋	ALSOK 総合警備保障
20	ハンマー投		久保 浩司	中京大クラブ
21	成年女子	200m・400mR	市川 華葉	中京大
22		400mR	河原崎可央里	日体大
23		100mH・(400mR)	山崎由加里	さかえクリニック
24		走高跳	松本明日美	名東高(教員)
25	円盤投		室伏 由佳	ミズノ
26	少年男子A	100m・400mR	三輪 将之	中京大中京高
27		400m・(400mR)	壁谷 智之	岡崎高
28		ハンマー投・砲丸投	杵本 皓貴	名古屋高
29	やり投		小野 顕佳	名古屋高
30	少年男子共通	800m	山本 龍	岡崎城西高
31		棒高跳	山本 聖途	岡崎城西高
32	少年女子A	100m・400mR	後藤 香奈	岡崎城西高
33		5000m	伊澤菜々花	豊川高
34	少年女子共通	走高跳・(400mR)	炭 水土里	千種高
35		やり投・砲丸投※	高塚 裕子	名城大附高
36	少年男子B	100m・400mR	渡辺 将志	名古屋高
37		3000m	小山 裕太	豊川工高
38		110mJH・(400mR)	清水 陽平	中京大中京高
39	走幅跳・(400mR)		青山 耕也	森孝中
40	少年女子B	100m・400mR	山田 恵里	中京大中京高
41		1500m・(400mR)	竹内麻里子	中京大中京高
42		100mYH・(400mR)	飯田 美咲	名城大附高

※高塚裕子の砲丸投は、少年女子Bの種目(北村 肇)

記録委員会

日本陸連への競技会にかかる記録公認申請も、各支部記録委員長はじめ各大会の記録担当委員の協力により、申請期間に遅れることなく大きな問題もなく申請を進めています。

トラックシーズンも9月にはいと、秋の新人大会、各支部選手権大会等を中心とした競技会に入ります。

例年のように、1月からの競技会の整理済みの記録と各競技会のリザルトとの再照合をする時期です。約1週間かけ、プリントアウトした記録集用の資料に入力漏れ、訂正等が無いかの照合作業をします。

今年は、昨年以上に新記録を樹立しています。県新5種目、県高校新4種目(延べ7)、県中学新7種目(延べ13)と16種目樹立しています。特に中学男子200m、河室裕貴(弥富)は0秒01及ばない全国中学歴代2位(21.37)を全日本中学校選手権大会で樹立しています。全日本中学選手権では5種目に県中学校新、1種目に県中学タイ記録を樹立、全国的な規模の大会で多種目に亘る新記録は称賛に値します。また、中学女子100mH、谷優奈(保見)、高校女子やり投、高塚裕子(名城大附1年)等の次代を担う競技者が多く、今後の活躍が期待されています。

前号(第14号)以降に確認した新記録(8月28日現)

愛知県新記録

男子

3000m	7.54.84	中尾勇生(トヨタ紡織)	国際競技大会(ベルギー)	7月21日	
5000m	13.31.81	中尾勇生(トヨタ紡織)	ゴールデンゲームズinのべおか(西階)	5月30日	
4×100mR	39.77	中京大	(加藤広大・森 喜勸・服部辰也・田口博崇)	東海学生対校選手権大会(瑞穂)	5月15日
4×400mR	3.10.25	愛知教育大	(日比野陽平・東 哲久・磯部 慶・中野弘幸)	東海学生対校選手権大会(瑞穂)	5月17日
ハンマー投(6.0kg:19才以下ジュニア)	61.97	一柳英之(名古屋高)		東海高等学校対校選手権大会(伊勢)	6月19日

愛知県タイ記録

男子

4×100mR	39.95	中京大	(加藤広大・杉本 隆・服部辰也・田口博崇)	東海学生対校選手権大会(瑞穂)	5月16日
---------	-------	-----	-----------------------	-----------------	-------

女子

100m	11.75	河原崎可央里(日本体育大)		日本陸上選手権大会(広島広域)	6月27日
------	-------	---------------	--	-----------------	-------

愛知高校新記録

男子

4×100mR	40.55	名古屋	(古池勁太・三浦豊成・中村健太・渡辺将志)	愛知選手権名古屋支部予選(瑞穂)	6月6日
4×100mR	40.73	中京大中京	(西垣佳哉・三輪将之・成瀬慎也・大野将士)	全国高等学校対校選手権大会(奈良)	7月29日
ハンマー投(6.0kg)	61.97	一柳英之(名古屋)		東海高等学校対校選手権大会(伊勢)	6月19日

女子

3000mSC	11.34.85	加藤かな代(岡崎城西)		愛知レディース大会(瑞穂)	7月4日
3000mSC	11.37.25	山田ありさ(惟信)		愛知選手権大会(瑞穂)	7月19日
やり投	47.18	高塚裕子(名城大附)		全国高等学校対校選手権大会(奈良)	7月29日

愛知中学新記録

男子

100m	10.81	河室裕貴(弥富)		全日本中学校選手権大会(大分)	8月24日
100m	10.86	鈴木祐太(本郷)		全日本中学校選手権大会(大分)	8月24日
200m	21.51	河室裕貴(弥富)		愛知県中学校総合体育大会(瑞穂)	7月30日
200m	21.37	河室裕貴(弥富)		全日本中学校選手権大会(大分)	8月22日
1500m	4.03.30	西山 令(葵)		全日本中学校選手権大会(大分)	8月24日
4×100mR(単独)	43.53		(時田遼嗣・田中宏昌・岩田亘平・高橋周治)	全日本中学校選手権大会(大分)	8月24日

女子

100mH	14.43	谷 優奈(保見)		愛知県中学校総合体育大会(瑞穂)	7月30日
4×100mR(単独)	48.77(長良)		(大場桃香・森 佑紀那・松井香保里・三木麻由香)	愛知県中学校総合体育大会(瑞穂)	7月30日
4×100mR(単独)	48.68(長良)		(馬場桃子・松井香保里・三木麻由香・森 佑紀那)	東海中学校総合体育大会(長良川)	8月11日
4×100mR(単独)	48.73(長良)		(馬場桃子・松井香保里・三木麻由香・森 佑紀那)	全日本中学校選手権大会(大分)	8月22日

愛知県タイ記録

男子

100mH	14.29	角田涼一(豊正)		全日本中学校選手権大会(大分)	8月24日
				(岡田 武彦)	

女性委員会

<日本陸連女性委員会会議の出席>

委員会は、平成21年度より小松委員長のもと、新体制でスタートしました。その委員会メンバーとして、第1回会議(7月3日)と地域代表会議(7月18日)に出席しました。新たに目標を掲げ、他の委員会と連携をして委員会活動を行なっています。会議では、その活動内容について検討をしました。その一つとして、かねてより要望が出ていました「盗撮防止のルール化」に向けて、本年度は積極的に活動をしていく予定です。

<1>女性委員会 会議内容

長期目標

- ①陸上競技界のあらゆる場を男女平等にしよう
- ②女性もプロフェッショナルになろう
- ③女性競技者のセカンドキャリアを充実させよう

平成21年度委員会事業

- (1)委員会 会議 <必要に応じて開催>

(2)全国女性委員会議

＜平成22年2月20日(土) ナショナルトレーニングセンター＞

(3)第27回レディース陸上競技大会 ＜11月1日(日) 松江＞

(4)女子普及種目クリニック

＜10月31日(土) 松江 棒高跳・ハンマー投・3000mSC・競歩＞

(5)陸上競技界の女性に関する実態調査 ＜男女平等に向けて＞

(6)女性の人材発掘 ＜プロフェッショナルの養成＞

(7)他専門委員会との連携

(8)その他 ＜盗撮の解決＞

＜2＞第6回愛知レディース陸上競技大会

前回大会までの反省や皆さんから頂いた要望をふまえて、種目数を増やし2日間で開催しました(県混成・県リレー大会と同時開催)。参加者数は、中学272名、高校・一般

301名、リレー25チームでした。昨年全国大会を開催したことが本大会のPRにもつながり、多数の方に参加していただきました。競技内容では、特に2大会ぶりに3000mSCを行なうことができ、5名の高校生が快走し、県高校新記録が生まれたことが印象的でした。ゴール後はスタンドから大きな拍手が送られて、とても感動的でした。2日間ともに良いコンディションに恵まれ、この他にも大会新記録7種目、大会タイ記録1種目が生まれました。優勝者には、本年度もMilky Way(生花店・名古屋市中区栄)より花束が贈られました。



高校一般チームをおさえたウエーデンリレーで優勝した千種中チーム

学校紹介⑤ 古知野中学校 県中総体男子優勝



短ダッシュ

今回は、尾北支所大会、西尾張地区大会で男女とも総合優勝を果たし、県中総体でも男子が総合優勝、女子が5位と活躍をした古知野中学校を訪問しました。訪れた日は3年生の引退式の日であり、1年生から3年生まで全ての部員が練習に参加していました。驚くべきは、その人数です。陸上部に割り当てられた狭いスペースを、127名の部員が実に効率よく活動していました。数は力と言いますが、この部員の多さが、まずは総合優勝の原動力だと思われました。部員数以外にも、練習内容や顧問の先生へのインタビューからつかむことができたものがありましたのでご報告します。

多くの学校が練習量確保のために早朝練習を行なっていると思いますが、古知野中学校でも水曜日を休みとして、月・木と火・金をセットにして少し種目を入れ換えたサーキットドリルを7:00～7:50の時間帯で行なっているそうです。サーキットドリルは、訪問当日の練習の中でも前半の50分程度の時間が当てられていました。このことは大勢の部員が効率よく活動できるようにとの工夫もありますが、体幹を鍛えることが記録を向上させるための鍵を握っているという顧問の長瀬先生の考えでもあります。中学生の発達段階に応じたトレーニングを工夫する必要があるとの言葉もお聞きました。グラウンドを囲むようにして雲梯、平行棒、登り棒、腹筋台、ベンチ、タイヤジャンプなどのアスレチック器具が配置されていることも手伝って実に多くのドリルが行なわれていました。その中でも前半の50分程度の時間が当てられていました。このことは大勢の部員が効率よく活動できるようにとの工夫もありますが、体幹を鍛えることが記録を向上させるための鍵を握っているという顧問の長瀬先生の考えでもあります。強いチームには、指導者の揺るぎない信念があるのだと思わずにはいられません。

信念ばかりではありません。生徒を強くさせるための工夫も見られました。1つめは、体育倉庫の扉に貼られた個人の記録です。最上段には古知野中学記録が貼られており、その下には現役部員の個人記録が種目別、成績順に貼られていました。器具を取り出すたびに毎日目にしますので、知らず知らずのうちに意欲をかき立てる材料になっているはずです。2つめは、グラウンド整備用のトンボに書かれたメッセージです。「質より量にこだわらば 量をこなせばだんだん質に転換していくのだ」「能力に差はない 自分の可能性を信じ いかに努力できるかだ」「限界までは誰でもいける 限界からいかに努力できるかだ」「全ての行動は自分の心が決める」などと、一つ一つ全てのトンボにメッセージが書き込まれていました。これも毎日のグラウンド整備の際に目にするものですから、生徒の心に少しずつ少しずつ降りていっているのだと思います。3つめは、「陸上競技部ベスト綴り」です。これは練習に出した生徒のベスト記録を書き連ねてあるものですが、今年の全国高校総体で入賞した先輩の記録も書き込まれており、綴りの中の記録を上回れば、上位の大会に行けるといっていいのだと思います。この記録は説得力のある数字であり、また選手の大きな目標になっているとのことでした。

最後に引退式の中で感じたことを付け加えておきます。この場では、3年生が後輩に向かって強くなるためのアドバイスを手短かに述べた後、4人の顧問の先生それぞれに3年生部員の名前とメッセージが書き込まれたTシャツと花束が贈られました。長瀬先生は「サプライズだな」と言いつつ涙ぐんでおられたように見えたのですが、これは、「部活以外の時間で声掛けをするように心掛けている。選手全員の記録を知っていなければならない。全員の状態を知っていなければならない。それが顧問の務め」という長瀬先生の言葉から伺い知れるように、顧問の先生と生徒の間に太い絆があることを思わせるものでした。だからこそ、「顧問を信じろ 練習を信じろ 自分の可能性を信じろ」ときっぱり言い切ることもできるのでしょう。

私は、顧問と選手の足し算があってこそ強いチームができるのだと思っています。古知野中学校が、顧問と生徒の太い絆で今後とも西尾張の、いや、愛知県の中学校の牽引役として活躍し続けるものと確信しました。

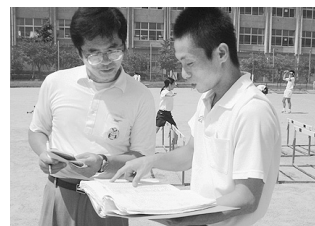
(取材・文責 大西 敏功/写真 占部 輝之)



サーキットB



部訓



永瀬先生(右)への取材

来年度に向けて課題としたいのは、参加標準記録の検討です。種目によって記録のレベルに差があるのではないかと、この意見が女性委員会の中で出ました。本大会は、普及を目的とした大会です。この点を十分考慮し、女性競技者の底辺拡大とレベルアップに大きな役割を担う大会として、発展させていきたいと考えています。

<3>女性審判員の確保と育成について

昨年全国大会を開催するにあたり、審判委員会と連携をして、この問題に取り組みました。その結果、前年度105名であった女性審判員数が273名に増加しました。これは、審判資格取得講習会を年2回にし、参加する機会を増やしたことが大きな理由だと考えます。また、委員の皆さんの地道な勧誘活動と女性男性問わずコミュニケーションを豊かにしようと働きかけていただいた成果だと考えます。以前は、女性は男性に溶け込みにくい雰囲気を感じられることがありました。しかし最近の大会では、休憩時間や仕事が終わった後も和やかに歓談する姿が見受けられます。皆さんが協力して大会運営を行なうためには、このような雰囲気もとても大切なものだと考えます。

女性審判員数は、飛躍的に増加しましたが、実際に大会に参加している方はまだ限られています。今後は、資格を持っているのに参加していない方に、いかにしたら参加していただくかが大きな検討課題です。毎大会と言うものではありません。レディース陸上や女子マラソンなど女性審判員が必要な大会には、1人でも多くの女性に参加していただきたいと考えます。全ての部署に女性がいる必要はないと考えます。女性が向いている部署や仕事は、女性審判員が行なえるようになれば良いと考えます。今年度、後半に向けて審判委員会と協力し、この課題に取り組んでいきたいと考えています。

(脇田 千鶴)

関係団体報告

中小体連

愛知の中学生、頑張っています！

上半期を終え、素晴らしい活躍を残した選手を紹介します。

河室裕貴(弥富3年) 100m、200m

県総体で21.51の中学歴代2位の記録をマークし、一気に全国で注目される存在に。全中では準決勝で21.37の大会新をマークし、中学記録まで0.01秒と迫った。決勝は21.45で制した。100mでも10.81の県中学新をマークし2位入賞。全国ジュニアオリンピックでの200m中学新記録誕生が期待される。

西山 令(葵2年) 800m、1500m

昨年、全中史上初となる1年生での800m出場を果たした西山選手は、今シーズンも好調。2年生で唯一出場となった共通1500mの予選で4.03.30の県中学新をマーク。持ち前のスピードが本当に素晴らしい選手である。

角田諒一(豊正3年) 110mH

東海総体の予選で14.45の大会新をマークし、決勝を14.63で制した。全中では自己ベストを一気に短縮する14.29をマークし、5位入賞。この14.29という記録は、名だたるハードラーを輩出してきた愛知の頂点に並ぶ記録で、非常に価値の高い記録といえる。

坂本憲哉(奥3年) 走高跳

普段はバスケットボール部で活動しているが、県総体を

1.94、東海総体を1.91で制し、全中に乗り込んだ。全中では自己ベスト更新となる2.00をマークし2位入賞。全国ジュニアオリンピックでは全国制覇が期待される。

北野有紀(愛知淑徳2年) 100m、200m

全中には100m、200mで出場。200mでは安定したレース運びで決勝まで駒を進め、24.99の好記録で4位入賞。将来の愛知女子スプリントのエースとして、さらなる躍進が期待される。

浅井真子(城北・3年) 走幅跳

全中で5.57をマークし2位入賞。逆転を狙った最後6本目の跳躍では、優勝記録を大きく上回る大ジャンプを見せたが、惜しくもファール。全中初日の競技ということもあり、チーム愛知の大躍進に勢いをつけた。

近年では最高となる69名の選手を全中に送り込むことができました。ただ出場するだけでなく、全国の舞台で勝負することのできる選手が増えたことを実感しました。10月の全国ジュニアオリンピックでは、チーム愛知の底力を見せつけたいと思います。中学生への応援よろしく願います。

(久米 裕朗)

高体連

全国高校総体報告

7月29日(水)から8月2日(日)までの5日間、奈良市の鴻ノ池陸上競技場において、第62回全国高等学校陸上競技対校選手権大会が開催されました。

この夏は天候が不順で雨が多く、大会前日の総合開会式も雨の中で行なわれ、本大会も危ぶまれるなか幕が開きました。ところが、始まってみると比較的過ごしやすい天候が続き、4日目が昼前からの雷と雨で約2時間遅れただけで済みました。

その中で、107名の大人数で乗り込んだ愛知県選手は今年もよく頑張り、男女合わせて優勝2種目を含む、計16種目の選手が入賞しました。

特に、3日目(7月31日)最終種目の男子4×100mRで、名古屋(優勝:40.75)と中京大中京(2位:40.80)が愛知県勢同士で優勝争いをするという、画期的かつ感動的なシーンを見せてくれました。

そして、大会最終日(8月2日)には、豊川高校の伊澤菜々花選手が女子3000mで優勝(9.15.65)しました。常に好位置につけラスト100mでスパートするという、見事なレース展開であったと思います。

また、女子800mでは中京大中京の竹内麻里子選手が、1年生ながら3位に食い込み、8月25日から韓国で行なわれた、日・中・韓ジュニア交流大会の代表に選考されました。(今回の奈良総体の結果については別表を参照してください。)

(大島 修)

高体連定通部

「上半期を終えて」

新型インフルエンザの流行で開催が危ぶまれたが、無事6月14日に全国大会出場選手選考会が知多運動公園陸上競技場で行なわれた。その結果、標準記録を突破し、3位までに入った男子21名、女子14名、10校35名が選ばれた。

7月14日県選手団結成式が名古屋市公会堂で行なわれ、その際、県総体女子総合優勝5年連続を達成した豊橋高校が表彰された。7月18日刈谷市総合運動公園で強化練習会が行なわれ、リレーメンバーが決まった。愛知の代表と

クラブ紹介⑩ へきなん陸上クラブ

「世代を超えてふれあう陸上の輪つくりが目標」

《生い立ち》

長年の審判活動から底辺の拡大が必要と肌で感じていたころ、当時の教育長より「市内の小学生の駅伝練習の指導をしてくれないか！」と碧南陸協に要請を受けた。陸協のメンバーが各学校へ分散訪問し、指導にあたったのが7年前。これがきっかけで走ることに好きな子どもたちを集め、土曜日のみ定期的に練習会を開催したのが今日のクラブの基礎となった「へきなんジュニア陸上クラブ」である。

昨年11月で5周年を迎えた。「なごや陸上クラブ」の村上先生のアドバイスもいただき、一つのグラウンドに子どもも大人も一緒になって世代を超えて陸上競技が楽しめるクラブにしたいと願い、ジュニアを外し「へきなん陸上クラブ」と命名した。現在、小学生会員33名、中学生会員数名に「碧AC」の指導者5名が熱心に指導している。最近では高校生や一般の方も混じって走っている。

《指導の考え方》

- ①運動の基本、走る・跳ぶ・投げるの動き作りをしっかりと身につける
- ②友達との輪作りと自主性の向上をめざす
- ③礼儀・挨拶・感謝が素直に実践できる

《活動形態》

①小学生グループ

選手コース、4年生～6年生（保護者の承認）

基本コース、2年生～3年生（保護者の承認）

※碧南市が行うスポーツ教室「陸上の部」も開設され、初心者を対象に指導委託を受けて実施している。修了した子どもたちの選手コースへの入会も増している。

②中学生グループ

部活に陸上部のない中学生（保護者の承認）

③高校生以上及びマスターズ会員

練習場所を提供し各自練習、時には小学生練習のお手伝い

《練習場所とコーチングスタッフ》

◎陸上競技場がないため練習場所は固定していない。

日曜日は、スタッフは陸上競技会の審判で動きがとれないので、平日の夜間練習が主である。初期のころは、中学校のグラウンドを借用し、自家用車のヘッドライトを利用して練習に励んだ苦労もあった。

①現在は、企業のご好意により夜間照明付きの300mトラックを借用している。ここではスピード練習と跳躍系の動き作りの基本練習

②今年オープンした照明のある臨海公園内（旧マンモスプール跡地）で変化に富んだ地形を利用して走っている

③土曜日は、市の委託を受けて実施している子どもの陸上教室とともに2号地の多目的広場で実践練習、大会前になると、競技場へ向いてリレーや跳躍練習をする

④雨天は体育館で体育ゲームにて動き作りを行なう

◎コーチングスタッフは、合同ウォーミングアップ後それぞれのブロックに分かれて指導するが、クラブ員共通の弱点は合同練習で強化を行なう

①コーチ…教員、実業団、学生時代に活躍した陸上経験者等の5人

②アシスタントスタッフ…クラブOBながら現役選手や父母の会スタッフ等の4人

《広報活動》

◎クラブの情報紙として「へきなん陸上クラブたより」に大会結果や先輩の活躍状況、地域テレビや新聞に取り上げられた話題などを掲載し、クラブ員の学校へ配布している。また企業等応援していただいているところへも配布し、活躍ぶりを報告することで恩返ししている。

《クラブ活動の成果》

◎2年前からやっと県でも優勝者が出るようになった。特に今年は、全国大会への出場も決まりクラブ員のこれからの励みにつながったこと。そして卒業生の保護者が「4年生のとき何かにつけて引っ込み思案でやる気のない子が入部して大会で賞状をもらってきて全校集会で表彰されるようになってから学校でも活発な子になりました…」とポツリと述べられたことが、私どもとしてはメダルをもらうより嬉しい言葉であったことが忘れられない。この子も今は中3、陸上部で頑張っている。 (杉浦 平作)



企業のご好意で300mグラウンドを借用



ウォーミングアップの中のリズムづくり



走りの基本、快調走



大会前の全天候トラックでのリレー練習



体育館にて「ボール集め」ゲーム



お世話になっている借用グラウンドの草取り奉仕活動（父母の会）



臨海公園内の
100mスロープダッシュ

しての意識を持つよう深津俊幸男子監督、片山寿喜女子監督から強い言葉が聞かれた。

全国大会は42都道府県から1,075名の選手が参加した。愛知は今年も女子の活躍に助けられた。特に



400m 2位・3位、100mH 3位、4×100mR 2位と健闘し、トラックの部は1位、女子総合で2位の成績を取ることができた。男子は400mで科技高刈谷の荒木伴哉が1位、愛知のただ一人の優勝者となった。リレーは3種目とも決勝に残り、応援の声も一層大きくなった。大会最終種目の4×400mRは激戦であった。激しく順位が入れ替わる中、最終走者の荒木にバトンが渡った時はトップとの差は15m程、そこから400m優勝者の走りを見せ、ゴール前ではトップに並んだ。なかなか結果が発表されなかったが同タイムの2位となった。しかし、国立競技場の人々は愛知の選手の走りに感動し拍手が湧き上がった。最後まで諦めない選手たちに今年も感動をもらった。(松橋 政人)

実業団

この広報15号が発行されるころは、ベルリン世界陸上での男子100mのボルトの驚異的な世界記録での幕開けで、数々の興奮と感動があったことだろうと推測します。

また、総選挙も政権選択を主な争点として、これまでにかつてないほどの各政党およびマスコミも盛り上がりの中?結果が判明されてる頃でしょう。

我々、実業団に身を置く者の一人として、政治の方向性や経済対策が少なからず影響してくることは否めない。どうか経済対策等が効果のある施策により各企業が元気を取り戻し、企業スポーツが健全な状態で活動でき、世の中全体が明るく健康で将来の展望が開ける、そんな社会を希望したいものです。

さて8月7日(金)～14日(金)まで北海道(土別)で実業団合宿(長距離種目を除く)を実施した。選手は5月の地域連盟の成績で選抜、男女23名の参加を得て開催した。今回で18年目を数え大変好評であった。地元、土別市の行政挙げての歓待を受け、練習は申し分ない環境で天候にも恵まれ順調に取り組めた。

また、3年前から地元の土別市及び名寄市からの高校生を中心に陸上教室も開催、今回は円盤投げ日本選手権2連覇中の小林志郎(新潟日報社所属)選手が実業団の主将として開講式を行なったあと、短距離・障害・跳躍・投擲の各ブロックに分かれて約2時間の陸上教室となった。参加した高校生は目を輝かせて各種目に取り組んでいた。こういった合宿に併せた地元中高校生への陸上教室は、底辺拡大にも大いに寄与するので、これからも継続していきたいものです。

本年度に入り、連盟主催事業である女子駅伝の開催場所等の問題について、事務局を中心に関係団体および関係者による調整を幾度か実施し、予定通り10月18日(日)に

開催される運びになりました。事務局及び関係団体、関係者の大変なご尽力に対し感謝申し上げます。

(樋高 勇二)

学連

上半期を終えて

平成21年度の東海学連の役員、事業日程、加盟校数・加盟選手数は、東海学連 <http://gold.jaic.org/jaic/tgrr/index.ht> を参照ください。この中で連盟としての活動の中心となる事業は、東海学生対校選手権大会と東海学生秋季選手権大会、東海学生駅伝対校選手権大会です。以下に各事業について概括します。

■東海学生対校選手権大会

男子36校・参加選手622名、女子24校・258名の参加によって、5月15日から3日間にわたって瑞穂陸上競技場で熱戦が繰り広げられた。その結果、東海学生新記録2、大会新記録が合計6種目で樹立された。また男子最優秀選手には5000mと10000mに優勝した中田剛司選手(三重中京)が、女子では円盤投とやり投(大会新)で優勝した江島成美選手(中京)が選考され、それぞれ副賞が授与された。

男女とも中京大学が総合優勝を果たし、男子は53回連続53回目、女子は2年ぶり47回目の栄冠に輝いた。

■日本学生個人選手権大会 ■西日本学生対校選手権大会

2009日本学生個人選手権(6月12日～14日平塚)では、東海からの優勝者100m田口、400m星、ハンマー投奥、の中京大学勢の活躍が目立った大会であった。それ以外では東海学連から入賞者22名(20年度10名)が入賞を果たした。

第62回西日本学生対校選手権(7月10日～12日丸亀)では、昨年度男女共総合優勝に輝いた中京大学であったが、本年度は男女とも精彩を欠いた。東海学連関係の優勝者6名・入勝者62名と前回大会より少なかった。今回は新型インフルエンザの影響もあり休校、練習場所等でコンディションに失敗した選手が多かった。

■海外遠征(交流) ■ユニバーシアード大会

日本陸連U23、日本学連、関東学連の連携のもとヨーロッパ遠征へ、今年度は北山真一(中京)を派遣した。選考は、春のサーキット、東海インカレの結果を重視した。

第25回ユニバーシアード(7月7日～12日セルビア共和国ベオグラード)には、東海から名城大学のハーフマラソン津崎選手(2位)、野村選手(3位)、10000m西川選手(4位)3名の代表選手が期待どおりの大活躍してくれた。

■強化練習会(合宿)

昨年度から強化の一環として、強化委員会が中心となりブロック別強化練習会、合宿を開催している。今年度も、9月の日本インカレに向けた東海学連全体のレベルアップを目指すという趣旨でスタートしたものであり、この夏季に数回の練習会、合宿が実施された。

全日本大学駅伝対校選手権大会について

今年度の東海学連の参加枠は2枠であるが、特別に東海学連選抜チームの出場を認めていただいている。本年度は6月21日に開催された予選会において、中京大学が11年ぶりの1位通過で2大会連続の30度目、名古屋大学が5大会ぶり13度目の出場を決めた。また、東海学連選抜チームは、2回の選考レースを経て、有田哲治監督の下、愛知工業大学、三重中京大学、四日市大学等が主力メンバーとなって編成される予定であり、こちらも健闘を期待したい。

出雲全日本大学選抜駅伝競走について

昨年度、第70回東海学生駅伝対校選手権大会(12月7日・知多半島)で2大会連続7度目の優勝を果たした愛知工業大学が出場する。駅伝シーズンの幕開けでもあり、先の日本学生駅伝予選会では、小差で代表枠を逃した無念をこの大会で晴らされることを期待したい。(安藤 好郎)

マスターズ陸上

心豊かな長寿社会への貢献役

愛知マスターズ連盟の2009年度上半期を振り返って、一番は新年度早々の4月26日(日)鳥取市で開催された第22回都道府県対抗全日本マスターズ駅伝大会エルダーの部で愛知県チームが初優勝したことはないでしょうか。

3部門制(男子の部、女子の部、エルダーの部)になってから各部門においてこれまで上位には入賞していましたが、優勝候補になったことはありませんでした。トップを走る大阪のアンカーの大ブレーキもあり、運よく優勝できたものですが、3部門とも着実に力をつけていますので、実力での優勝も夢ではないと期待をしています。

次は、ウェーブスタジアム刈谷で開催した、第22回全国スポレク祭愛知県代表選手選考会で朝から生憎の雨に関わらず女子3000mW70で知立市の渡辺恵彌子が日本記録を樹立しました。70歳以上では群を抜いている実力者ですので、全国スポレク宮崎大会での活躍が大いに期待されます。

8月8日(土)ウェーブスタジアム刈谷で記録会を開催しました。今年、改修工事が行なわれたため、この記録会1回のみとなったためか、想定外の多くの参加者が集まり、競技時間がかなり延長となり、参加者にご迷惑をお掛けしました。しかし、陸協の大会には参加できないレベルの陸上競技愛好者で、競技をしたいという方が多くいるんだと感じました。マスターズ陸上が日本の陸上界に貢献できることがまだまだあると思いました。

全日本マスターズ選手権大会の準備状況ですが、8月25日には競技役員の主任会議、9月1日には第2回愛知実行委員会が開催され、着実に準備を進めており、この機関誌が発行される頃には終了しているかと思えます。

参加者はブラジルや台湾からの参加を含め、1,573人の申し込みがありました。最高齢の103歳から一番若い30歳まで73歳の年齢差があります。このような陸上競技会はおそらくマスターズ陸上以外にはないのではないかと思います。皆様には年齢に関係なく陸上競技に取り組む「ひたむきさ」をご覧いただいたことと思います。

(佐野 昭二)

愛知陸協 OB 会



國分代表(中央)と傘寿、喜寿の皆さん

はじめ、専門委員長など6名の来賓を迎え、総会・懇親会が盛大に開催された。

7月18日(土)、愛知選手権1日目の競技終了後、瑞穂ラグビー会場会議室において、9名の新会員を含む69名の会員と瑞穂競技場福井管理課長は

國分一郎世話人代表の挨拶に続いて、物故者に黙祷をささげ、予定の議案が原案通り承認された。

その後、寿杯規定により、傘寿の寺澤整爾氏、大見脩氏、高橋光夫氏、喜寿の井上和孝氏、森敏行氏、廣田昌裕氏、手島文治氏に各々祝品が贈られた。

続いて、神田邦夫氏をはじめ9名の新会員が紹介され、OB会のバッジが贈呈され、総会が終了した。

総会后、翠忠明氏の乾杯の音頭で懇親会がスタート。楽しいひと時を過ごした。

(村瀬雄一郎)

競技会報告

第56回東海高等学校総合体育大会兼秩父宮杯
第62回全国高等学校陸上競技対校選手権大会東海地区予選会
平成21年6月19日(金)~21日(日)三重県営総合競技場陸上競技場

[男子]

(HT:東海高校記録/GR:大会記録)

種目	順位	記録	氏名	所属	
100m	2位	10.74	三輪 将之	中京大中京	
	3位	10.79	三浦 豊成	名古屋	
	6位	10.88	成瀬 慎也	中京大中京	
	7位	10.89	田村 朋也	名古屋大谷	
200m	2位	21.47	林 雅人	一宮	
	4位	21.58	古池 勁太	名古屋	
	5位	21.60	田村 朋也	名古屋大谷	
	6位	21.63	三輪 将之	中京大中京	
	7位	21.66	浅野 伸明	栄徳	
	8位	22.29	三浦 豊成	名古屋	
	400m	2位	48.05	壁谷 智之	岡崎
		6位	48.35	古池 勁太	名古屋
800m	1位	1.54.98	山本 龍	岡崎城西	
	3位	1.55.40	水野 眞敬	春日井	
1500m	1位	3.57.37	小島 秀斗	豊川工	
	4位	3.58.07	山本 修平	時習館	
5000m	1位	14.31.24	山本 修平	時習館	
	5位	14.33.36	Macharia Joseph Munga	豊川	
110mH	1位	14.88	三浦 豊成	名古屋	
	2位	14.92	小久保翔太	成章	
	5位	15.20	星野 岳央	蒲郡東	
	6位	15.23	山崎 翔太	中京大中京	
	7位	15.23	天野 涼太	岡崎城西	
	8位	15.24	吉村 健吾	豊田北	
	400mH	2位	53.87	木全 広大	愛工大名電
		6位	54.26	山田 瑞輝	春日井
3000mSC	1位	9.13.05	山口 浩勢	惟信	
	3位	9.16.74	山内 栄二	豊川	
	4位	9.17.79	八田 康裕	岡崎	
	5位	9.18.93	勝又 敬央	豊川	
	6位	9.19.98	正木 翔	豊川工	
5000mW	1位	22.46.74	木村 洋介	弥富	
	4位	24.09.14	中野 克哉	半田	
4×100mR	1位	41.01	西垣 佳哉 三輪 将之 成瀬 慎也 大野 将士	中京大中京	
	3位	41.27	古池 勁太 三浦 豊成 中村 健太 渡辺 将志	名古屋	
4×400mR	1位	3.16.95	中村 健太 鈴木 俊也 古池 勁太 岡田 壮平	名古屋	

種目	順位	記録	氏名	所属
4×400mR	2位	3.18.02	岡田 洋 壁谷 智之 加藤 大喜 榊原 康政	岡崎
	6位	3.18.73	大野 将士 塚野 天啓 成瀬 慎也 三輪 将之	中京大中京
	7位	3.20.00	浅井 聖也 山田 涼馬 八橋 孝幸 林 雅人	一宮
	8位	3.20.60	今瀬 和哉 水野 真敬 木下 尚紀 山田 瑞輝	春日井
走高跳	8位	1.90	川端 哲矢	岡崎城西
棒高飛	3位	4.80	山本 聖途	岡崎城西
	7位	4.70	甲村 佳樹	三好
	8位	4.70	塚野 天啓	中京大中京
走幅跳	7位	6.97	酒谷 昇吾	名古屋
三段跳	8位	13.96	安藤 圭祐	江南
円盤投	2位	45.57 GR	杵本 皓貴	名古屋
ハンマー投	1位	61.97 HT GR	一柳 英之	名古屋
	2位	56.93	杵本 皓貴	名古屋
	6位	52.64	森 祐也	津島
	7位	51.95	増田 遼	名古屋
やり投	1位	64.26	小野 顕佳	名古屋
8種競技	2位	5414点	山崎 翔大	中京大中京
	3位	5128点	加藤 翼	日進西

総合成績 1位：名古屋 46点 3位：中京大中京 20点
トラックの部 1位：名古屋 24点 3位：中京大中京 15点
5位：岡崎 13点 7位：時習館 9点
8位：豊川 8点
フィールドの部 2位：名古屋 22点
[女子]

種目	順位	記録	氏名	所属
100m	3位	12.21	小林 愛実	愛知淑徳
	6位	12.28	後藤 香奈	岡崎城西
	8位	12.36	福島 優	愛知淑徳
200m	2位	24.59	小林 愛実	愛知淑徳
	6位	24.94	福島 優	愛知淑徳
	7位	25.05	山田 恵里	中京大中京
400m	4位	57.02	真柄美乃里	愛知
	6位	57.35	竹内麻里子	中京大中京
	7位	57.56	安保 真衣	瑞陵
800m	1位	2.12.64	竹内麻里子	中京大中京
	6位	2.14.24	柴田 有里	成章
	7位	2.14.39	市川ゆきえ	菊里
1500m	3位	4.34.19	鈴木 萌未	愛知淑徳
	6位	4.34.87	小林 愛実	豊川工
3000m	1位	9.22.35	伊澤菜々花	豊川
	2位	9.28.87	鈴木亜由子	時習館
	3位	9.31.27	鈴木美乃里	豊川
	4位	9.31.73	下村 環加	豊川
	6位	9.33.97	小林 愛実	豊川工
100mH	3位	14.64	大谷友梨恵	至学館
	6位	14.82	近藤 友美	中京大中京
	8位	15.04	飯田 美咲	名城大附
400mH	3位	1.01.96	西尾真梨子	中京大中京
	7位	1.04.43	菅田 真智	瑞陵
3000mW	3位	14.14.65	前川 知美	岡崎商
	6位	14.31.80	前田 紗希	一宮
4×100mR	2位	47.59	近藤 友美 小椋 敦子 山田 恵里 飯田 美妃	中京大中京

種目	順位	記録	氏名	所属
4×100mR	6位	48.35	高橋美沙紀 家田 知佳 征矢 萌唯 船坂 実来	至学館
4×400mR	3位	3.49.16	竹内麻里子 西尾真梨子 小椋 敦子 飯田 美妃	中京大中京
	5位	3.51.93	水上 祥子 園原 基予 船坂 実来 大谷友梨恵	至学館
	7位	3.54.13	横井 葵 安保 真衣 菅田 真智 松下紗矢香	瑞陵
走高跳	1位	1.70	炭 水土里	千種
	2位	1.67	佐藤 菜南	向陽
	3位	1.64	中嶋 文望	岡崎城西
走幅跳	4位	5.58	岩月 愛子	安城学園
砲丸投	5位	12.20	藤澤 華子	至学館
	6位	12.01	近田 茜	名城大附
円盤投	1位	39.07	鳥影のぞみ	至学館
	3位	37.19	北見 仁美	日進西
やり投	3位	43.61	萩原 麻子	豊田大谷
	4位	43.01	高塚 裕子	名城大附
	5位	42.67	田中 真央	至学館
7種競技	6位	42.11	八代真友華	名城大附
	7位	3829点	宮田 美咲	横須賀

総合成績 3位：中京大中京 21点 4位：至学館 17点
7位：愛知淑徳 14点 8位：豊川 13点
トラックの部 2位：中京大中京 21点 5位：愛知淑徳 14点
6位：豊川 13点
フィールドの部 1位：至学館 10点 4位：千種 6点

第26回愛知県小学生リレー競走大会

2009年6月27日(土) 名古屋瑞穂公園陸上競技場

少年 (GR：大会新記録)

種目	1位	2位	3位
県4年50m	市野 皓也 7.75 成岩 SC陸上	宮崎 智矢 7.88 岡崎 JAC	柵木 友幸 7.89 西尾わかっつる
全国5年100m	和田 瑞輝 13.71 田原陸上クラブ	川崎ライオン 14.02 安城 JAC	伊藤 壮太 14.26 田原陸上クラブ
全国6年100m	石田 雄真 13.20 JAC武豊	松村 義樹 13.23 AC一宮	山本 幹也 13.24 とよた AC
全国80mH(0.700m)	石川 拓磨 13.62 JAC武豊	山手 陸 13.88 作野 AC	井上 周雅 14.72 安城北 AC
全国東海4×100mR	とよた AC 52.78 菅 舞人 山本 幹也 池川 雄大 安田 駿	安城ジュニア陸上クラブ 52.93 大崎 慎平 善 大輝 畑 音似音 若杉 俊佑	JAC武豊 53.59 河合 宏哉 坊野 晃大 石川 拓磨 石田 雄真
全国走高跳	大橋 拓馬 1.32 千代田橋 AC	酒井 裕輝 杉本 峻也	二本木 AC 安城北 AC 同順：1.25
県4年走幅跳	中谷 英人 3.71 JAC大府	千駄 我空 3.62 JACあつみ	石田 匠 3.47 JAC武豊
全国走幅跳	高須 翔生 5.04 安城北 AC	井田 光紀 4.74 なごや陸上ク	黒田 玲央 4.63 豊橋陸上クラブ
全国ソフトボール投	山本 隼平 73.32 JACあつみ GR	那須ケビン 60.08 高台寺 AC	小川 巧 55.31 明和 JAC

少女

種目	1位	2位	3位
県4年50m	猪塚 真希 7.77 なごや陸上ク	川端 真奈 7.88 安城里野 AC	宮園 雛子 8.04 岡崎 JAC
全国5年100m	掛川 栞 14.05 JACとよあけ	樋口 香華 14.34 安城 JAC	花井 環 14.89 知立ジュニア

種目	1位	2位	3位
全国6年100m	浜田 奈子 13.69 へきなん陸上	中野 真琴 13.73 豊橋陸上クラブ	武山さくら 14.00 岡崎 JAC
全国80mH (0.700m)	松井 紗良 13.37 豊橋陸上クラブ	北野喜理帆 13.41 十四山体育ク	佐久間菜摘 13.90 安城北部 AC
全国東海4×100mR	安城ジュニア陸上クラブ 53.89 樋口 円華 井上 奈南 野村 彩加 北川 瑠菜	豊橋陸上クラブ A 54.66 北河紗那枝 村松 風香 奈良 朋世 中野 真琴	岡崎 JAC 54.79 牛越 智子 武山さくら 松本 扶弥 松本 莉奈
全国走高跳	金子 貴絵 1.35 豊橋陸上クラブ GR	金子 梓 1.35 豊橋陸上クラブ GR	大久保珠美 1.30 新田 TFC GR
県4年走幅跳	清水 千晴 3.92 なごや陸上ク GR	田中ルリカ 3.76 とよた AC	吉村 月乃 3.53 片葩 AC
全国走幅跳	亀田 夏帆 4.30 JAC とよあけ	鈴木 千陽 4.27 新城陸上教室	阿部 夏子 4.23 なごや陸上ク
全国ソフトボール投	中島 唯 45.38 錦町陸上	常盤みなみ 43.88 安城北部 AC	桂山 李湖 43.46 へきなん陸上

混合

種目	1位	2位	3位
県4年4×100mR	なごや陸上クラブ 59.98 猪塚 真希 清水 千晴 三輪 拓真 西村 太希	豊橋陸上クラブ A 1.01.21 久野 景子 増田 実奈 外山 零 杉山 尚槻	安城里町 AC 1.01.53 川浪 亜紀 川端 真奈 山口 諒大 大軒 泰青
東海5年4×100mR	田原陸上クラブ A 56.17 後藤 有砂 鈴木 麻妃 和田 瑞輝 伊藤 壮太	JAC とよあけ A 57.03 近江 咲乃 掛川 栞 浅井 一希 柴田 有仁	里町 AC-A 57.46 平塚 由季 森下 夏帆 鈴木 大貴 太田 泰雅

2009 東海混成競技大会愛知大会
兼第30回愛知県混成競技大会
兼第69回愛知選手権大会 (5000m・10000m・リレー)
国体選考競技会 (少年Bの部)・ジュニア記録会
 2009年7月4日・5日 名古屋市瑞穂公園陸上競技場

種目	1位	2位	3位
東海男子十種競技	中村 明彦 7006 中京大	荒木 崇裕 7005 中京大	井上 将成 6821 東三河 AC
東海女子七種競技	渡邊 純子 4888 中京大	太田 穂 4407 中京女大	伊藤 綾夏 4006 愛知教育大
愛知男子十種競技	中村 明彦 7006 中京大	井上 将成 6821 東三河 AC	土井 洋 6522 中京大
愛知女子七種競技	太田 穂 4407 中京女大	河崎梓穂璃 4334 佐屋高	伊藤 綾夏 4006 愛知教育大
中学男子四種競技	宮崎 混太 2323 沓掛	今原 貴生 2305 南稜	宝田 雅治 2228 東港
中学女子四種競技	平手 佑佳 2564 知多八幡	榊原小侑希 2251 河和	坂田 実佳 2232 城北
選手権男子5000m	川畑 憲三 14.26.92 愛三工業	前田 貴史 14.28.57 愛知製鋼	藤井 輝 14.31.09 愛三工業
選手権男子10000m	井幡 政等 29.51.85 愛三工業	大塚 良軌 29.55.91 愛知製鋼	阿部 哲史 29.56.01 トエネック
選手権男子4×100mR	愛知学院大 40.76 市川 真央 田口 明 金原 優渡 野村 一貴	中京大 40.82 屋貝 博文 安井 一樹 外間 修造 波多野良平	名古屋高 41.11 中村 健太 三浦 豊成 酒谷 昇吾 渡辺 将志
選手権男子4×400mR	愛知学院大 3.14.17 金原 優渡 田口 明 日下部智久 高崎 健太	愛知大 3.14.90 横井 佑哉 瀧本 慎吾 遠藤 昇平 加藤 雷也	トヨタ自動車 3.17.67 田中 星次 原 勇太 原 伸次 東 政義
選手権女子5000m	下村 環加 16.40.02 豊川高	鈴木美乃里 16.40.14 豊川高	清田 真央 16.54.76 中京大中京高

種目	1位	2位	3位
選手権女子4×100mR	中京女大 46.34 門奈 美和 渡邊有紀子 後藤 菜月 今井沙緒里	至学館高 47.91 高橋美沙紀 家田 知佳 征矢 萌唯 船坂 実来	中京大中京高 47.98 近藤 友美 小椋 敦子 山田 恵里 飯田 美妃
選手権女子4×400mR	中京女大 3.46.09 GR 門奈 美和 今井沙緒里 柘植 早織 鷹羽 桃子	中京大中京高 3.55.66 飯田 美妃 西尾真梨子 小椋 敦子 鈴木 愛理	至学館高 3.57.35 水上 祥子 大谷友梨恵 糟谷 知世 横原 基予
国体男子100m	渡辺 将志 11.27 名古屋高	掛村 将之 11.32 名古屋高	寺田 健人 11.39 栄徳高
国体男子3000m	小山 裕太 8.52.31 豊川工高	石黒 大介 8.52.94 豊川工高	中村 駿介 8.53.12 岡崎城西高
国体男子110mH (0.991m)	里地 勇飛 15.30 中京大中京高	清水 陽平 15.37 中京大中京高	角田 涼一 15.37 豊正中
国体男子走幅跳	青山 耕也 6.43 森孝中	小堀 裕貴 6.34 明和高	
国体男子円盤投 (1.500kg)	墨 訓熙 39.40 起工高	小出 巧実 38.14 河和中	清水 大樹 36.15 春日井商高
国体女子100m	山田 恵里 12.72 中京大中京高	横井 葵 12.82 瑞陵高	家田 知佳 12.95 至学館高
国体女子1500m	竹内麻里子 4.37.21 中京大中京高	中根 実来 4.41.88 中京大中京高	今泉 志穂 4.44.88 東邦高
国体女子100mYH (0.762m)	飯田 美咲 14.65 名城大附属高	冬頭 七海 15.15 瑞陵高	谷 優奈 15.40 保見中
ジュニア男子100mH (0.840m)	岩崎 聖 14.95 東海中	田ノ上 航 17.19 長良中	手塚 和也 17.20 守山西中
ジュニア男子円盤投 (1.000kg)	富田 健凌 39.59 豊橋陸上クラブ	天野 雄太 38.11 古知野中	伊藤 太陸 32.86 御幸山中
ジュニア男子ジャベリックスロー	榊原 潤也 52.39 豊橋陸上クラブ	山田 光輝 49.34 守山西中	佐藤 泰介 47.44 富士中
ジュニア女子100mH (0.762m)	柳瀬 理央 17.49 守山西中	早瀬 名那 18.23 長良中	小池紗有美 18.36 古知野中
ジュニア女子円盤投 (1.000kg)	中村 江里 22.29 長良中	安藤かすみ 21.25 古知野中	山田帆乃香 21.03 御幸山中
ジュニア女子ジャベリックスロー	安藤 里帆 37.92 守山西中	榊原菜奈子 36.62 甲山中	松嶋 夏緒 35.87 守山西中

第6回愛知レディース陸上競技大会
 2009年7月4日・5日 名古屋市瑞穂公園陸上競技場

(GR: 大会新記録 / PH: 県高校新記録)

種目	1位	2位	3位
中学100m	田中優梨亜 12.85 豊橋陸上クラブ	山田 晴帆 13.03 千種中	早川 有香 13.16 千種中
中学200m	岡本妃南美 27.46 矢作中	橋本 真理 27.90 御幸山中	市岡 寧愛 27.94 竜南中
中学800m	佐々木明花 2.20.32 高橋中	蒲地 美月 2.23.52 豊橋陸上クラブ	久保坂優子 2.25.93 千種中
中学1500m	松井恵里奈 4.47.89 豊橋陸上クラブ	稲垣 朱乃 4.51.21 東山中	近藤かすみ 4.54.86 豊橋陸上クラブ
中学100mH (0.762m)	谷 優奈 14.97 保見中 GR	馬場 桃子 15.60 長良中	牧野 有里 16.15 豊川東部中
中学走高跳	今瀧 絢美 1.50 豊橋陸上クラブ	服部 美香 鎌倉実夢里 同順: 1.40	御幸山中 千種台中
中学走幅跳	柴田奈津希 5.16 豊橋陸上クラブ	石川加奈子 5.10 知多 TC	菅原 美里 5.06 守山西中
中学砲丸投 (2.721kg)	岡 千波 10.84 知多知多中	岡田はるな 10.47 鶴城中	中村 江里 10.39 長良中
一般・高校・大学100m	渡邊有紀子 12.40 中京女大	本多 莉緒 12.61 安城学園高	飯田 美妃 中京大中京高 小椋 敦子 中京大中京高 同順: 12.63
一般・高校・大学200m	安保 真衣 26.25 瑞陵高	真柄美乃里 26.85 愛知高	今村 妃呂 27.05 愛知学院大
一般・高校・大学800m	服部真紀子 2.19.79 OWLS	片桐 咲保 2.20.98 中京大中京高	春日井このみ 2.22.88 中京大中京高
一般・高校・大学1500m	柴田 有里 4.41.41 成章高	森下 琴絵 4.41.47 中京大中京高	山田 栞 4.44.25 瑞陵高

	種目	1位	2位	3位
一般・高校・大学	100mH (0.840m)	近藤 友美 14.59 中京大中京高	菅田 真智 15.80 瑞陵高	酒井 志奈 15.82 光ヶ丘女高
	400mH (0.762m)	西尾真梨子 1.02.51 中京大中京高	小川 愛由 1.07.91 名古屋商高	山本 純菜 1.08.45 愛知学院大
	3000mSC	加藤かなよ 11.34.85 岡崎城西高 GR・PH	山田ありさ 11.56.18 惟信高	村崎 史奈 12.22.12 安城学園高
	走高跳	炭 水土里 1.67 千種高 EGR	北島 茉璃 1.64 瑞陵高	中嶋 文望 1.61 岡崎城西高
	走幅跳	八丁地彩華 5.30 中京大中京高	布施 和花 5.28 至学館高	岩月 愛子 5.18 安城学園高
	三段跳	小川 詩織 12.01 中京女大	早川友里恵 11.57 岡崎城西高	野村 希 11.10 安城学園高
	砲丸投 (4.000kg)	藤澤 華子 11.87 至学館高	高橋 奈美 10.85 至学館高	竹内 絵里 10.40 至学館高
	円盤投 (1.000kg)	加藤 千枝 40.50 中京女大 GR	小中真由美 37.34 名古屋大 GR	鳥影のぞみ 37.22 至学館高 GR
	やり投 (0.600kg)	東野 麻衣 46.23 愛知教育大 GR	田中 真央 40.96 至学館高	萩原 麻子 40.74 豊田大谷高
	棒高跳	梅木 幸子 2.80 豊工 B	松下 琴子 2.60 千種中	高木 志帆 2.60 中京大中京高
共通	スウェーデンリレー	千種中 2.27.11	瑞陵高 2.27.30	成章高 2.27.62
	100+	水野 萌香	石原 里奈	山内 萌
	200+	山田 晴帆	冬頭 七海	大河内麻史
	300+	早川 有香	北島 茉璃	石井 知佳
	400m	大山 晴加	森脇 美優	山田 瑞紀

女子 (GR: 大会新記録/PJ: 県中学新記録)

	種目	1位	2位	3位
一般・高校・大学	100m	河原崎可央里 11.96 日体大	門奈 美和 12.03 中京女大	市川 華菜 12.04 中京大
	200m	市川 華菜 24.19 中京大	今井沙緒里 24.27 中京女大	川崎 聖子 24.35 国土縮大
	400m	鷹羽 桃子 56.24 中京女大	桑子 栞 57.12 光ヶ丘女高	真柄美乃里 57.39 愛知高
	800m	竹内麻里子 2.14.40 中京大中京高	市川 真弓 2.16.44 愛知学院大	樋口 光華 2.17.83 都留文科大
	1500m	伊澤菜々花 4.25.87 豊川高	田鍋 舞 4.33.42 愛知電機	小林 愛実 4.34.77 豊川工高
	100mH (0.840m)	安藤由加里 14.00 中京女大	岸 沙耶香 14.21 小島プレス	飯田 美咲 14.56 名城大附属高
	400mH (0.762m)	林 加世子 1.01.93 トヨタ自動車	西尾真梨子 1.03.19 中京大中京高	大谷友梨恵 1.03.42 至学館高
	3000mSC	山田ありさ 11.37.25 惟信高 GR	村崎 史奈 12.09.11 安城学園高	
	5000mW	前川 知美 25.50.04 岡崎商高	加藤 典子 26.24.65 三菱自動車岡崎	山本那津紀 26.39.61 豊川工高
	共通	走高跳	松本明日美 1.71 中京大クラブ	服部 珠美 1.65 中京大
棒高跳		横井恵里香 3.40 中京大	牛田智菜美 3.10 三好高	松下 琴子 2.80 千種中 PJ
走幅跳		布施 和花 5.49 至学館高	岩月 愛子 5.45 安城学園高	賀川 綾子 5.42 中京女大
三段跳		小川 詩織 12.28 中京女大	早川友里恵 11.58 岡崎城西高	中嶋 文望 11.40 岡崎城西高
砲丸投 (4.000kg)		藤澤 華子 12.55 至学館高	伊東亜優美 12.01 日体大	近田 茜 11.85 名城大附属高
円盤投 (1.000kg)		室伏 由佳 51.99 ミズノ	高木 美波 41.13 中京大	宮崎真由美 39.98 小島プレス
ハンマー投 (4.000kg)		赤嶺 愛 47.33 豊田自動織機	北野 真利 44.40 中京大クラブ	野田 瞳 36.49 起工高
やり投 (0.600kg)		吉野 菜美 47.15 中京女大	東野 麻衣 44.80 愛知教育大	高塚 裕子 44.40 名城大附属高

第 69 回愛知陸上競技選手権大会
兼第 52 回東海陸上競技選手権大会予選会
兼第 64 回国民体育大会選手選考競技会
2009 年 7 月 18 日・19 日 名古屋市瑞穂公園陸上競技場

男子 (GR: 大会新記録/PJ: 県中学新記録)

	種目	1位	2位	3位
一般・高校・大学	100m	田中 星次 10.59 トヨタ自動車	三輪 将之 10.69 中京大中京高	横井 佑哉 10.87 愛知大
	200m	服部 辰也 21.17 中京大	横井 佑哉 21.31 愛知大	浅野 伸明 21.63 栄徳高
	400m	原 伸次 47.42 トヨタ自動車	大川 光 47.52 岐阜経済大	恩田 健人 47.75 東洋大
	800m	粟津 良介 1.53.66 明治大	鈴木 俊介 1.54.67 愛知学院大	水野 真敬 1.55.79 春日井高
	1500m	小島 秀斗 3.55.07 豊川工高	樋口 諒 3.55.80 慶應大	鈴木 俊介 3.58.15 愛知学院大
	110mH (1.067m)	飯田 将之 13.81 早稲田大	久田 尚弥 14.07 さかエクリニク	牛田 朋宏 14.59 青山学院大
	400mH (0.914m)	大川 光 51.65 岐阜経済大	山内 博貴 51.68 中京大	山本 躍斗 52.99 福岡大
	3000mSC	加藤 聡 9.04.65 トヨタ自動車	石塚 誠 9.13.24 愛知学院大	中田 進康 9.13.82 トーエネック
	5000mW	大坪 鷹人 21.47.79 名古屋 AC	鈴木 基文 21.54.90 順天堂大	吉原 政人 22.19.26 プロシード
	共通	走高跳	早川 周吾 2.11 安城学園 AC	舟瀬 勇太 2.11 中京大
棒高跳		山本 聖途 4.80 岡崎城西高	近田 竜雅 4.70 中京大中京高	近藤 清貴 中京大中京高 甲村 佳樹 三好高 4.60
走幅跳		村上 智史 7.09 日本大	西 航司 7.05 日本大	鈴木 雄貴 6.94 中京大
三段跳		早川 周吾 15.05 安城学園 AC	山崎 喜生 14.93 HIDESONZ	金田 純弥 14.91 名古屋工業大
砲丸投 (7.260kg)		久保 浩司 14.36 中京大クラブ	加藤 源樹 13.77 トヨタ自動車	久保 博規 13.36 中京大
円盤投 (2.000kg)		山形 洋平 44.16 中京大クラブ	久保 博規 43.91 中京大	廣瀬 剛史 40.28 中京大
ハンマー投 (7.260kg)		久保 浩司 62.72 中京大クラブ	瀧 友孝 55.12 東海大	北浦 弘之 54.21 中京大クラブ
やり投 (0.800kg)		下り藤 修大 72.66 小島プレス	小野 颯佳 63.09 名古屋高	土田 基由 62.66 中京女大

最優秀選手 下り藤 修大 (小島プレス)

最優秀選手 室伏 由佳 (ミズノ)

第 55 回全日本中学校通信陸上競技愛知県大会
兼第 36 回全日本中学校陸上競技選手権大会愛知県予選会
兼第 64 回国民体育大会選手選考競技会 (少年 B: 共通)
2009 年 7 月 20 日 名古屋市瑞穂公園陸上競技場

男子 (GR: 大会新記録/◎: 標準記録突破)

	種目	1位	2位	3位
一般・高校・大学	1年 100m	秋江 洋志 11.94 萩原	伊藤 勉 12.20 一宮南部	渡邊圭一郎 12.30 富士
	1年 1500m	稲葉 康太 4.26.65 葵	谷口 跳馬 4.28.27 沓掛	小島 勇人 4.28.48 今伊勢
	2年 100m	宮崎 恭庸 11.45 六ツ美北	井上 脩吾 11.61 矢作北	近藤 佑哉 11.66 大府北
	3年 100m	河室 裕貴 10.98 弥富 GR ◎	黒野 脩斗 11.23 吉良◎	高橋 周治 11.24 名古屋東海◎
	200m	宮崎 海悠 22.54 春日井知多◎	河室 裕貴 22.55 弥富◎	長田 拓也 23.25 野田
	400m	安井 大河 51.98 東港◎	栗原 和希 52.19 雁が音	深谷 亮介 53.06 竜海
	800m	西山 令 2.01.49 葵◎	兼松 哲大 2.03.37 高針台	菅沼 絢斗 2.04.05 竜南
	1500m	金尾 圭祐 4.09.16 東港◎	西山 令 4.11.44 葵	河合 晃平 4.14.33 下山
	3000m	木下 雅裕 8.52.95 知多八幡◎	金尾 圭祐 8.53.04 東港◎	於久 幸大 8.58.74 扶桑◎
	共通	110mH (0.914m)	川浪 駿 14.57 東山 GR ◎	角田 涼一 14.87 豊正◎
4×100mR		鳴海 44.34 GR 近藤 司 近藤 龍一 横井 一将 高峰 隆彰	千種台 44.71 藤澤 直哉 岩中 正志 岩中 貴志 片桐 悠貴	上郷 44.83 井上 雄貴 近藤 啓大 都築 卓馬 杉坂 竜亮

種目	1位	2位	3位
走高跳	中村 仁 1.85 河和◎	榊原 潤也 1.85 吉田方◎	田中 悠介 1.79 大府西
棒高跳	鈴木 康太 3.80 岡崎南	坪内 優 3.80 古知野	高田 凌 3.70 矢作北
走幅跳	青山 耕也 6.78 森孝 GR ◎	鈴木 舜也 6.58 伊良湖岬◎	二宮 聡史 6.52 甲山◎
砲丸投 (5.000kg)	山下 響平 12.56 守山西	小出 拓実 12.36 河和	天野 雄太 12.01 古知野

女子 (◎: 標準記録突破)

種目	1位	2位	3位
1年 100m	河合 詩菜 13.12 安祥	村越優里奈 13.23 六ツ美北	伊藤 南侑 13.25 梅坪台
2年 100m	北野 有紀 12.39 愛知淑徳◎	田中優梨亜 12.69 豊川西部	早川 有香 13.01 千種
3年 100m	孕石 梨花 13.05 塩津	岡本妃南美 13.07 矢作	山田めぐみ 13.12 竜南
200m	山田 晴帆 26.14 千種◎	武田 真歩 26.68 田原東部	斎藤 夏海 26.94 高橋
800m	佐々木 明花 2.18.21 高橋	服部 優亜 2.18.22 黄金	酒井 愛菜 2.19.15 高蔵寺
1500m	堀 舞花 4.40.65 祖父江	服部 優亜 4.41.29 黄金	鷺見 梓沙 4.42.14 沓掛
100mH (0.762m)	谷 優奈 14.63 保見◎	萩原加奈子 14.93 高豊◎	坂田 実佳 15.15 城北
4×100mR	長良 49.77 大場 桃香 森 佑紀那 松井香保里 三木麻由香	千種 50.62 水野 萌香 山田 晴帆 松下 琴子 早川 有香	岡崎東海 51.16 北川 絢菜 神菌 奈苗 彦坂優佳里 青山ゆり子
走高跳	榊原小侑希 1.60 河和◎	鈴木麻莉華 1.60 岡崎南◎	杉浦 澄美 1.57 福岡◎
走幅跳	浅井 真子 5.50 城北◎	菅原 美里 4.99 守山西	酒井 瞳味 4.96 上郷
砲丸投 (2.721kg)	江利川里帆 12.40 港南	岡 千波 11.63 知多知多	兵藤 純佳 11.15 平坂

第63回愛知県中学校総合体育大会陸上競技

2009年7月30日 名古屋市瑞穂公園陸上競技場

男子 (GR: 大会新記録/NPR: 県新記録/◎: 標準記録突破)

種目	1位	2位	3位
1年 100m	秋江 洋志 11.87 萩原	伊藤 勉 12.20 一宮南部	渡邊圭一郎 12.30 富士
1年 1500m	稲葉 康太 4.26.93 葵	小島 勇人 4.27.07 今伊勢	谷口 跳馬 4.28.29 沓掛
2年 100m	井面 拓也 11.39 豊橋南部	金森 怜也 11.56 葉栗	藤岡 鷹羽 11.57 保見
2年 1500m	西山 令 4.12.45GR 葵	永山 周輝 4.16.43 東浦西部	川合 健太 4.17.15 高豊
3年 100m	鈴木 祐太 11.08◎ 本郷	黒野 脩斗 11.15◎ 吉良	川野 直哉 11.41 扇台
3年 1500m	木下 雅裕 4.10.47◎ 知多八幡	彦坂 一成 4.11.23 牟呂	畑 秀磨 4.16.33 東港
200m	河室 裕貴 21.51 NPR GR 弥富	宮崎 海悠 22.75 GR◎ 春日井知多	長田 拓也 22.98◎ 野田
400m	栗原 和希 52.32 雁が音	近藤 啓太 52.53 上郷	田口 惇嗣 53.08 朝日
800m	兼松 哲大 2.00.31◎ 高針台	森 裕隆 2.01.47◎ 高蔵寺	柴田 達也 2.02.39 香流
3000m	河合 晃平 9.04.33 下山	金尾 圭祐 9.06.15 東港	野口 和真 9.08.64 石巻
110mH (0.914m)	川浪 駿 14.88◎ 東山	杉坂 竜亮 上郷 角田 涼一 豊正	◎14.95

種目	1位	2位	3位
低学年 4×100mR	篠目 46.70 GR 伊藤 雅明 村瀬 雅季 遠藤 侑汰 外山 達也	名古屋東海 46.78 GR 加藤 大暉 岩崎 聖 萩野 雅斗 佐藤 有真	千種 47.37 塚原 隆貴 伊藤 友明 石原 光源 野村 大成
4×100mR	名古屋東海 43.83 GR 時田 遼嗣 田中 宏昌 岩田 巨平 高橋 周治	古知野 44.40 川崎 裕介 萩原 弘樹 伊藤 大幹 玉田脩二郎	鳴海 44.52 近藤 司 近藤 龍一 横井 一将 高峰 隆彰
走高跳	坂本 憲哉 1.94◎ 奥	榊原 潤也 1.85◎ 吉田方	田中 悠介 1.82 大府西
棒高跳	船橋 溪 3.80 祖父江	坪内 優 3.80 古知野	高田 凌 3.80 矢作北
走幅跳	青山 耕也 6.65◎ 森孝	野本健太郎 6.56◎ 六ツ美	遠藤 圭市 6.45 萩山
砲丸投 (5.000kg)	天野 雄太 12.87 古知野	山下 響平 12.49 守山西	小出 拓実 12.46 河和

女子 (GR: 大会新記録/EGR: 大会タイ記録/NPR: 県新記録/◎: 標準記録突破)

種目	1位	2位	3位
1年 100m	村越優里奈 13.06 六ツ美北	河合 詩菜 13.23 安祥	石原 果奈 13.25 成岩
1年 800m	鷺見 梓沙 2.23.30 沓掛	山田日菜野 2.24.25 三好北	金尾 南実 2.25.26 東港
2年 100m	北野 有紀 12.47◎ 愛知淑徳	田中優梨亜 12.79 豊川西部	早川 有香 13.09 千種
3年 100m	鈴木 友幾 12.97 高橋	水野 萌香 13.08 千種	別府千代美 13.16 雁が音
200m	山田 晴帆 26.03◎ 千種	萩原加奈子 26.09◎ 高豊	武田 真歩 26.68 田原東部
800m	堀 舞花 2.17.25◎ 祖父江	西川かりん 2.18.30 富貴	服部 優亜 2.18.58 黄金
1500m	高橋 季香 4.43.61 葉栗	北本可奈子 4.46.24 犬山	稲垣 朱乃 4.46.49 東山
100mH (0.762m)	谷 優奈 14.43 NPR GR 保見	齊藤 早希 14.99◎ 甲山	坂田 実佳 15.01 城北
低学年 4×100mR	豊岡 52.34 GR 加藤 凜 山本 梨紗 鈴木茉陽留 大羽 咲日	安城南 52.84 神谷 美和 伊藤 佳奈 勝田 萌 今泉 恵	神丘 53.01 小林 春来 栗原 美紗 大熊 夏季 明瀬 優香
4×100mR	長良 48.77 NPR GR 大場 桃香 森 佑紀那 松井香保里 三木麻由香	千種 49.84 水野 萌香 山田 晴帆 松下 琴子 早川 有香	東山 50.76 神谷 紗穂 徳田 彩夏 酒井 美緒 河合 絢
走高跳	榊原 小侑希 1.60◎ 河和	清野 菜名 1.57◎ 明治	鈴木麻莉華 岡崎南 杉浦 澄美 福岡 1.57◎
走幅跳	浅井 真子 5.58 EGR◎ 城北	酒井 瞳味 5.21 上郷	菅原 美里 5.06 守山西
砲丸投 (2.721kg)	江利川里帆 12.14 港南	岡 千波 11.44 知多知多	安藤かすみ 11.32 古知野

平成21年度全国高等学校総合体育大会

平成21年7月29日(水)~8月2日(日) 鴻ノ池陸上競技場

男子

種目	順位	記録	氏名	所属
100m	5位	10.67	三輪 将之	中京大中京
400m	8位	49.11	壁谷 智之	岡崎
1500m	8位	3.49.92	小島 秀斗	豊川工
3000mSC	8位	9.1.05	山口 浩勢	惟信

種目	順位	記録	氏名	所属
4×100mR	1位	40.75	古池 勁太 三浦 豊成 中村 健太 渡辺 将志	名古屋
	2位	40.80	西垣 佳哉 三輪 将之 成瀬 慎也 大野 将士	中京大中京
棒高跳	6位	4.80	山本 聖途	岡崎城西
ハンマー投	6位	56.52	杵本 皓貴	名古屋
やり投	2位	65.86	小野 顕佳	名古屋

女子

種目	順位	記録	氏名	所属
800m	3位	2.10.01	竹内麻里子	中京大中京
3000m	1位	9.15.65	伊澤菜々花	豊川
	8位	9.20.24	鈴木亜由子	時習館
4×400mR	8位	3.52.04	山田 恵里 飯田 美妃 小椋 敦子 西尾真梨子	中京大中京
走高跳	5位	1.65	炭 水土里	千種
	8位	1.65	中嶋 文望	岡崎城西
やり投	7位	47.18	高塚 裕子	名城大附

第53回全国教育系大学陸上競技大会
2009年8月9日 名古屋市瑞穂公園陸上競技場

男子

(GR:大会新記録)

種目	1位	2位	3位
100m	山内 謙吾 11.07 愛媛・福教大	井上 雄太 11.32 愛知・愛教大	石原 寛之 11.35 鳥取・東学大

種目	1位	2位	3位
200m	前園 諒 22.41 福岡・福教大	須崎 康臣 22.75 熊本・福教大	栗原 諒 22.86 東京・東学大
400m	神内 洋佑 49.34 大阪・大教大	鈴木 大地 49.39 新潟・東学大	山本 恭平 49.95 奈良・大教大
800m	松井 直也 1:55.84 兵庫・大教大	古井 啓介 1:56.25 福岡・東学大	丸山 雅志 1:57.42 奈良・奈教大
1500m	小塚 雄介 3:59.91 愛知・愛教大	福井 雅俊 4:02.14 栃木・東学大	清沢 創一 4:04.26 長野・東学大
5000m	伊藤 文浩 15:20.94 愛知・愛教大	福井 雅俊 15:31.81 栃木・東学大	岡野 功 15:39.37 兵庫・大教大
110mH (1.067m)	渡橋 隆明 14.73 広島・福教大	西 淳史 14.89 愛知・愛教大	岩坂 紘司 15.14 愛知・愛教大
400mH (0.914m)	長島 貴之 53.79 埼玉・東学大	小金沢 篤 53.93 長野・東学大	倉林 和宏 54.30 群馬・上教大
3000mSC	木下 裕貴 9:38.88 大阪・大教大	山口 貴史 9:47.36 東京・東学大	丸尾 健太 9:49.21 愛知・愛教大
5000mW	村上 格 21:46.84 北海道・東学大 GR	山口 貴史 22:57.84 東京・東学大	佐藤 幸二 23:14.53 愛知・愛教大
4×100mR	東京学芸大 41.70 栗原 諒 石原 寛之 高橋 修平 鈴木 大地	福岡教育大 41.79 前園 諒 渡橋 隆明 谷 健太 山内 謙吾	大阪教育大 42.16 玉置 洋 豊嶋 陵司 福井 謙太 神内 洋佑
	愛知教育大 3:16.80 都築 僚太 西 淳史 立脇 慧一 岩坂 紘司	東京学芸大 3:18.18 松野 大樹 長島 貴之 小金沢 篤 鈴木 大地	大阪教育大 3:18.87 牧 友祐 神内 洋佑 笹田 尚史 山本 恭平
走高跳	岩田 康弘 2.06 静岡・東学大	松山 直輝 2.06 三浦 恵 東京・東学大	福岡・福教大 1.95
棒高跳	津田 英也 4.95 GR 兵庫・兵教大	一ノ瀬 航 4.40 愛知・愛教大	谷村 雄宏 4.00 栃木・東学大
走幅跳	山内 謙吾 7.16 愛媛・福教大	石井 一将 6.93 広島・愛教大	熊野 陽人 6.81 大阪・大教大

全国高校総体参戦記 in 奈良

三輪将之選手 (中京大中京 3年) 100m 第5位

夏のインターハイ、そこで結果を出すのが高校に入ってからずっと目標でした。

しかしそれまでの道は決して楽な道ではなく、長く結果が全く出ない時期もありました。しかしスランプは乗り越えるものであり、諦めずに仲間達とコツコツ練習を積み重ね、徐々に努力が実り始めました。

そして素晴らしい仲間達とインターハイでメダルを取れたことは本当に嬉しく、3年間の中で一番の思い出となりました。コツコツと続ければ夢が叶うということが証明できて本当によかったと思います。

炭水土里選手 (千種 3年) 走高跳 第5位

私にとって初めての全国だったので、多少の不安もありましたが、“楽しむ”という気持ちは忘れずに臨むことができました。ベストを出せなかったのが残念ですが、インターハイという最高の舞台で跳ぶこと、表彰台に立つことがずっと夢だったので、ほんとにいい経験ができました。応援してくれた人や支えてくれた人たちのおかげで出せた結果です。感謝の気持ちを忘れずに、これからも新たな目標に向けて頑張っていきたいです。

高塚裕子選手 (名城大学附属 1年) やり投 第7位

私は、初めてのインターハイということで、とても緊張していました。大会当日、緊張のためか一投目に投げた43.95を抜くことができませんでした。

予選通過記録を投げることはできなかったのですが、運良く12番目で拾われ、決勝に進むことができました。決勝では、先生方や応援に来てくれていた仲間から温かい声をかけられ、「思い切って投げよう!」と決めました。

結果はベストを更新して、7位に入賞することができました。

もし私が一人だったら、入賞はおろか、インターハイの舞台にも立てなかったと思います。

先生方の指導や仲間からの応援・励ましがあったから、ベストで入賞できたんだと思います。

先生方や仲間に感謝して、残りのシーズンも頑張っていきたいです。

小野顕佳選手 (名古屋 3年) やり投 第2位

僕の目標はベスト更新、最低3位以上だったので、この2つの目標が達成できて嬉しかったです。そして、今まで応援し支えてきてくれた先生方、コーチ、陸上部の仲間、友達、両親に恩返しできたことが何よりも嬉しかったです。

また、総合開会式では、県選手団の代表で旗手も務めさせていただき、とても良い経験になりました。

僕にとって今回のインターハイは、今までで最高の思い出です。ありがとうございました。

種目	1位	2位	3位
三段跳	福田 浩之 14.38 大阪・大教大	松藤 真 14.24 愛知・愛教大	林 裕貴 13.80 広島・福教大
砲丸投 (7.260kg)	藤原 康孝 13.24 東京・東学大	岡本 諒 12.43 福岡・福教大	今津 歩 11.66 大阪・大教大
円盤投 (2.000kg)	今津 歩 36.08 大阪・大教大	小島 聡 35.30 埼玉・東学大	藤原 康孝 34.27 東京・東学大
やり投 (0.800kg)	井上 直紀 63.60 神奈川・東学大	田原 紘樹 60.08 京都・大教大	金岩 聖 59.35 愛知・愛教大

得点

	1位	2位	3位
トラック	東学大 129 点	愛教大 85 点	大教大 84 点
フィールド	東学大 75.5 点	愛教大 53 点	福教大 50.5 点
総合得点	東学大 204.5 点	愛教大 138 点	大教大 134 点

女子

(GR:大会新記録)

種目	1位	2位	3位
100m	川口 夢加 12.46 福島・東学大	三浦 千佳 12.71 福岡・福教大	登 あい 12.91 広島・福教大
200m	川口 夢加 25.67 福島・東学大	岩瀬 覚美 25.93 愛知・愛教大	成田 幸代 26.48 愛知・愛教大
400m	岩瀬 覚美 58.85 愛知・愛教大	岡野 愛美 1:00.36 神奈川・東学大	松本 夕佳 1:00.73 愛知・愛教大
800m	大友 雅弘 2:12.96 GR 東京・東学大	田島 香織 2:16.68 群馬・東学大	成瀬 直 2:18.33 愛知・愛教大
1500m	土井友里永 4:40.71 千葉・東学大	花岡 沙耶 4:42.70 愛知・愛教大	藤本 洋子 4:46.36 兵庫・大教大
5000m	土井友里永 17:40.84 千葉・東学大	森岡 章 17:56.29 大阪・大教大	松本 千景 18:21.36 愛知・愛教大
100mH (0.840m)	伊藤 綾夏 15.47 愛知・愛教大	田澤 愛 15.59 長野・東学大	山口 薫 15.61 三重・大教大
400mH (0.762m)	宮本 実季 1:03.32 兵庫・大教大	藤本 彩夏 1:04.43 広島・愛教大	中尾 舞 1:07.24 福岡・福教大
4×100mR	愛知教育大 47.83 近藤 希実 愛敬 世菜 渡邊 千洋 岩瀬 覚美	東京学芸大 49.08 鈴木 優香 五味美菜子 川口 夢加 古口 夕貴	大阪教育大 49.51 門井 彩夏 宮本 実季 尾崎 文香 山口 薫
4×400mR	愛知教育大 3:57.22 成田 幸代 藤本 彩夏 松本 夕佳 近藤 希実	東京学芸大 3:58.78 川口 夢加 山崎 芽衣 大友 雅弘 田島 香織	大阪教育大 4:01.23 山口 薫 宮本 実季 門井 彩夏 鷹取 陸
走高跳	梅津 友香 1.65 大阪・大教大	野澤 香穂 1.55 山梨・東学大	覚前 美紀 1.50 和歌山・大教大
棒高跳	渡邊みなみ 3.60 岐阜・愛教大	饗庭みずき 3.40 滋賀・愛教大	
走幅跳	渡邊 千洋 5.93 GR 静岡・愛教大	登 あい 5.43 広島・福教大	古口 夕貴 5.29 東京・東学大
三段跳	渡邊 千洋 12.20 GR 静岡・愛教大	鈴木 菜月 11.93 静岡・東学大	田澤 愛 11.91 長野・東学大
砲丸投 (4.000kg)	片嶋 佑果 12.77 奈良・愛教大	下 一美 12.22 兵庫・大教大	武蔵 千里 10.94 石川・愛教大
円盤投 (1.000kg)	片嶋 佑果 39.51 奈良・愛教大	武蔵 千里 31.35 石川・愛教大	下 一美 29.39 兵庫・大教大
やり投 (0.600kg)	東野 麻衣 44.23 愛知・愛教大	山崎 芽衣 37.63 福井・東学大	岡野 愛美 35.84 神奈川・東学大

得点

	1位	2位	3位
トラック	東学大 109 点	愛教大 99 点	大教大 75 点
フィールド	愛教大 98 点	東学大 55 点	大教大 47 点
総合得点	愛教大 197 点	東学大 164 点	大教大 122 点

第31回東海中学校総合体育大会陸上競技大会
2009年8月11日 岐阜メモリアルセンター長良川競技場

男子トラック (NTJ:東海新 ETJ:東海タイ NGR:大会新)

種目	1位	2位	3位
1年 100m	秋江 洋志 11.76 愛知・萩原	廣澤 数馬 11.87 岐阜・大垣東	吉田 熙那 11.96 静岡・伊東南

種目	1位	2位	3位
2年 100m	日吉 克実 10.86 NGR 静岡・伊豆修善寺	田中 翔真 11.22 三重・名張北	井面 拓也 11.43 愛知・豊橋南部
3年 100m	手塚 康太 10.88 NGR 岐阜・飛騨白川	鈴木 祐太 10.95 愛知・本郷	矢川 喬平 11.16 静岡・富士岩松
200m	河室 裕貴 22.00 NGR 愛知・弥富	諏訪 達郎 22.44 三重・大池	宮崎 海悠 22.90 愛知・春日井知多
400m	愛敬彰太郎 50.74 三重・成徳	前田 裕太 51.06 三重・桜	小川 建 51.52 静岡・浜松南陽
800m	兼松 哲大 2:00.67 愛知・高針台	渥美 良明 2:01.78 静岡・静岡高松	石本 卓也 2:03.02 静岡・静岡中島
1年 1500m	茂山 蓮太 4:26.07 三重・一志	稲葉 康太 4:26.49 愛知・葵	小島 勇人 4:27.92 愛知・今伊勢
2年 1500m	西山 令 4:14.66 愛知・葵	南 嘉紀 4:18.01 静岡・浜松舞阪	中谷 建太 4:18.59 静岡・浜松籠玉
3年 1500m	木下 雅裕 4:09.12 愛知・知多八幡	植松 悠樹 4:09.82 静岡・静岡長田西	松浦 昂広 4:12.55 静岡・浜松北浜
3000m	金尾 圭祐 8:57.82 愛知・東港	野村 将汰 9:02.09 静岡・浜松籠玉	山城 翔輝 9:10.05 静岡・静岡籠上
110mH (0.914m)	角田 涼一 14.63 愛知・豊正	杉山 昇 14.81 岐阜・美濃加茂東	岩田 大輝 14.88 三重・一志
低学年 4×100mR	篠目・愛知 46.40 伊藤 雅明 村瀬 雅季 遠藤 侑汰 外山 達也	高田・三重 46.86 河村 天陽 松岡 修平 鈴木 悠介 中西 淳貴	名古屋東海・愛知 46.88 加藤 大暉 岩崎 聖 萩野 雅斗 佐藤 有真
4×100mR	名古屋東海・愛知 44.70 時田 遼嗣 田中 宏昌 岩田 巨平 高橋 周治	浜松天竜・静岡 44.88 戸塚 貴拓 高橋 建人 伊藤 誠 鈴木龍之介	鳴海・愛知 44.95 近藤 司 近藤 龍一 横井 一将 高峰 隆彰

男子フィールド

種目	1位	2位	3位
走高跳	坂本 憲哉 1.92 愛知・奥	衛藤 将 1.89 三重・白子	井戸田 峻 1.83 岐阜・東可児
棒高跳	戸倉 広貴 4.40 静岡・袋井南	野田 涼平 4.40 岐阜・瑞陵	植松 倫理 4.30 静岡・浜松天竜
走幅跳	村上 了太 6.68 静岡・菊川岳洋	野本健太郎 6.64 愛知・六ッ美	青山 耕也 6.62 愛知・森孝
砲丸投 (5.000kg)	伊藤 勇吏 14.62 岐阜・下呂	高ショウロン 14.52 岐阜・藍川東	大輪 哲也 14.19 静岡・下田

女子トラック (NTJ:東海新 ETJ:東海タイ NGR:大会新)

種目	1位	2位	3位
1年 100m	榎菌あすか 12.94 岐阜・高富	松村 莉奈 13.15 静岡・田子浦	杉山 梓 13.16 静岡・東海大翔洋
2年 100m	建部カオリ 12.43 NGR 静岡・浜松湖東	松本沙耶子 12.54 静岡・清水第四	大橋 萌子 12.74 静岡・焼津大富
3年 100m	古川 真瑚 12.49 岐阜・美濃	鈴木 海景 12.50 静岡・磐田第一	水野 亜美 12.56 静岡・静岡長田南
200m	杉山 美優 25.46 静岡・静岡長田南	佐藤 彩夏 25.68 静岡・三島中郷	大塚陽那子 25.71 岐阜・島
1年 800m	松本奈菜子 2:18.15 静岡・清水第四	山田日菜野 2:21.01 愛知・三好北	飯田 彩乃 2:21.82 三重・三重

種目	1位	2位	3位
800m	木村 友香 2.11.39 NGR 静岡・静岡籠上	西川かりん 2.15.94 愛知・富貴	堀 舞花 2.15.99 愛知・祖父江
1500m	田中 結女 4.36.49 NGR 静岡・富士岡	久保 彩乃 4.37.52 NGR 静岡・清水第一	中島 葵 4.38.17 静岡・菊川西
100mH (0.762m)	小沢沙里花 14.43 NGR 静岡・浜松西高中	谷 優奈 14.45 NGR 愛知・保見	二村 有紀 14.88 静岡・浜松天竜
低学年 4×100mR	東海大翔洋・静岡 51.58 遠藤 まな 杉山 梓 杉本 紋 菅原奈津美	五十鈴・三重 51.76 野口 幸恵 西田 有沙 石谷 佳穂 田村 佳澄	三雲・三重 51.85 松島沙理亜 田中 杏沙 西山 遥香 大西 莉沙
4×100mR	静岡長田南・静岡 48.62 杉山 美波 杉山 美優 植田 晴香 NTJ 水野 亜美 NGR	長良・愛知 48.68 馬場 桃子 森 佑紀那 松井香保里 NTJ 三木麻由香 NGR	磐田竜洋・静岡 48.84 酒井 菜那 名倉 彩夏 諏訪 晴海 ETJ 石田 夕奈 NGR

女子フィールド

種目	1位	2位	3位
走高跳	島本ももこ 1.64 岐阜・中津第一	榊原小侖希 1.64 愛知・河和	清野 菜名 1.61 愛知・明治
走幅跳	浅井 真子 5.54 愛知・城北	大石真由香 5.31 静岡・静岡末広	海野 結 5.20 静岡・静岡東
砲丸投 (2.721kg)	佐藤 真緒 14.62 静岡・浜松天竜	堀内菜緒佳 12.41 静岡・浜松曳馬	八木麻理菜 12.38 岐阜・緑陽

第44回全国高等学校定時制通信制陸上競技大会
平成21年8月14日(金)～16日(日) 国立競技場

男子

種目	順位	氏名	校名	記録
400m	1位	荒木 伴哉	科技刈谷	52.27
1500m	3位	三浦 誠	科技刈谷	4.20.48
5000m	5位	三浦 誠	科技刈谷	17.20.48
400mH	7位	相羽 岳志	科技刈谷	1.05.81
4×100mR	5位	山中一・高橋・山中満・桑原		47.38
4×400mR	2位	相羽・杉山・松下・荒木		3.38.90
三段跳	8位	高橋 和馬	大府	11.72

女子

種目	順位	氏名	校名	記録
200m	5位	鈴木 優華	科技刈谷	31.03
	7位	山田 千紬	科技刈谷	31.39
400m	2位	山田 千紬	科技刈谷	1.08.29
	3位	矢城 琴美	安城	1.09.76
800m	4位	矢城 琴美	安城	2.43.90
100mH	3位	櫻井 京子	科技刈谷	19.06
4×100mR	2位	中村・櫻井・山田・鈴木		56.96
走幅跳	5位	櫻井 京子	科技刈谷	4.49
	8位	中村 巴音	科技刈谷	4.22
円盤投	5位	當間くみこ	碧南	23.45

総合

男女総合 3位 男子総合 7位 女子総合 2位 女子トラック 1位

第30回愛知県ジュニアオリンピック競技大会
第40回ジュニアオリンピック陸上競技大会愛知選手選考会
2009年8月30日(日) 名古屋市瑞穂公園陸上競技場

(◎：標準記録突破/PR：県中学新記録)

種目	1位	2位	3位
男子A 100m	黒野 脩斗 11.09 吉良中	青木 啓太 11.46 六ツ美北中	竹内 智昭 11.52 乙川中

種目	1位	2位	3位	
男子A	200m	河室 裕貴 21.94 PR:◎ 弥富中	長田 拓也 22.71 田原陸上クラブ	高橋 周治 22.72 名古屋東海中
	3000m	野口 和真 9.03.99 石巻中	木下 雅裕 9.09.71 知多八幡中	金尾 圭祐 9.09.74 東港中
	110mH (0.991m)	川浪 駿 15.12 東山中	角田 涼一 15.24 豊正中	杉坂 竜亮 15.26 上郷中
	走高跳	榊原 潤也 1.90 豊橋陸上クラブ	青山 耕也 1.80 森孝中	中藪 健太郎 1.80 西尾東部中
	砲丸投 (5.000kg)	山下 響平 12.58 守山西中	天野 雄太 11.70 古知野中	
女子A	100m	森 佑紀那 12.37 長良中	水野 萌香 13.01 千種中	孕石 梨花 13.12 塩津中
	200m	松井香保里 25.90 長良中	浅井 真子 26.58 城北中	吉川 侑希 26.68 振甫中
	3000m	西川かりん 10.22.84 富貴中	服部 優亜 10.27.56 なごや陸上クラブ	杉浦 貴恵 10.29.70 竜海中
	走高跳	鈴木麻莉華 1.58 岡崎南中	榊原小侖希 1.55 河和中	田口奈奈子 木曾川中 今瀧 絢美 豊橋陸上クラブ 1.50
男子B	100m	掛川 真 11.28 豊明栄中	井面 拓也 11.41 豊橋南部中	井上 脩吾 11.51 矢作北中
	1500m	河合 祐哉 4.17.35 田原東部中	西山 令 4.19.06 葵中	村上ヒデキ 4.19.07 東浦中
	110mH (0.914m)	三浦 成皓 15.16 ◎ 富貴中	古元 翼 15.43 とよた AC	矢野 智大 15.44 守山西中
	走幅跳	平林 卓磨 6.46 ◎ 東浦中	宮崎 恭庸 6.39 ◎ 六ツ美北中	清野 達也 6.10 安祥中
女子B	100m	田中優梨亜 12.70 豊橋陸上クラブ	早川 有香 12.95 千種中	山田 晴帆 12.97 千種中
	1500m	堀 舞花 4.43.24 祖父江中	大久保紗希 4.46.34 東浦西部中	佐々木明花 4.52.82 高橋中
	100mH (0.762m)	萩原加奈子 14.79 ◎ 豊橋陸上クラブ	山本 麻湖 16.09 杏掛中	牧野 有里 16.29 豊川東部中
	走幅跳	石川加奈子 5.00 知多トラッククラブ	鈴木 望馨 4.95 保見中	久野 優樺 4.94 竜神中
男子C	砲丸投 (2.721kg)	岡 千波 11.84 知多知多中	安藤かすみ 10.77 古知野中	彦坂紗由実 10.22 章南中
	100m	秋江 洋志 12.03 AC 一宮	伊藤 勉 12.17 AC 一宮	萩野 雅斗 12.26 名古屋東海中
	100mH (0.840m)	鈴木 康隆 15.60 甲山中	手塚 和也 小島 尊哉	守山西中 16.54 扇台中
	走幅跳	渡邊圭一郎 5.70 富士中	田村 航大 5.32 千種台中	伊藤 裕也 5.17 豊川東部中
女子C	砲丸投 (2.721kg)	吉戸 鉄人 13.33 豊橋陸上クラブ	清水 和樹 13.19 愛知陸協	
	100m	河合 詩葉 13.05 安祥中	村越優里奈 13.08 六ツ美北中	山口綾加 13.28 豊川西部中
	100mH (0.762m)	吉田有美香 16.44 滝中	柳瀬 理央 16.53 守山西中	早瀬 長那 16.98 名中
	走幅跳	山下 瑞季 4.91◎ 亀崎中	城越 美那 4.86 大府中	光武 悠姫 4.84 大府南中
男子A/B共通	円盤投 (1.000kg)	小出 拓実 52.81 河和中	川村 光司 41.08 前林中	富田 健凌 40.49 豊橋陸上クラブ
	ジャベリック スロー	酒井 秀 59.77 萩山中	三宅 広 59.51 明祥中	田中 竜輝 54.91 愛知陸協
	円盤投 (1.000kg)	松尾 阿樹 23.96 豊橋陸上クラブ	江利川里帆 23.06 港南中	中村 江里 22.39 長良中
女子A/B共通	ジャベリック スロー	森口 芹菜 41.68 上郷中	市川 実咲 39.64 守山西中	中村 知香 37.86 守山西中
	100mYH (0.762m)	谷 優奈 14.51 ◎ 保見中	齊藤 早希 15.53 甲山中	坂田 実佳 15.62 城北中
男子C	1500m	木村 聡 4.27.98 ◎ 河和中	稲葉 康太 4.34.97 葵中	小島 勇人 4.37.61 AC 一宮
女子C	800m	鷺見 梓沙 2.19.52 杏掛中	山田日菜野 2.20.17 三好北中	榊原 海紗 2.23.11 一色一色中

理事会等会議報告

○常務理事会 21年7月2日(木) 18:30 教育会館

1 協議事項

- ①愛知選手権大会選手権賞等の寄贈者について
 - ・男女最優秀選手賞及び各種目選手権者の「選手権賞寄贈者」を決める。梅村清弘氏他46名。
- ②愛知陸上競技協会会長表彰候補者について
 - ・名古屋支部5名、尾張支部2名、西三河支部1名、計8名が選ばれる。
- ③愛知陸上競技協会特別表彰について
 - ・該当者なし。
- ④名古屋ハーフマラソン大会要項について
 - ・前年度と大きな変更なく了承される。
 - 期日は11月23日(祝・月)
- ⑤日本ジュニア・ユース選手権大会実行委員会について
 - ・来年度愛知県開催。実行委員会ははじめ今後の予定について検討される。本年度実施県のプログラム編成会議及び大会視察の概要について提案される。

2 報告事項

- ①日本陸連評議員会報告
 - ・平成20年度事業報告・決算報告について
 - ・第12回ベルリン世界選手権の報奨金について
 - ・主要国際大会の代表選手選考について
 - ・全国都道府県対抗駅伝におけるふるさと制度について
 - ・2009横浜国際女子マラソン大会について
 - ・その他
- ②各専門委員会活性化の年間計画の報告
 - ・各委員会より活性化の提案があった。
- ③各専門委員会の委員委嘱について
 - ・各委員会より原案が出され承認される。
- ④各専門委員会報告
 - ・2009年新記録として確認した種目(記録委員会)
 - ・第53回全国教育系大学陸上競技大会(事務局)
 - ・2009日本棒高跳クラブ夏季研修記録会(事務局)
 - ・第6回世界ユース陸上競技選手権大会要項(事務局)
 - ・第2回施設用器具委員会報告(施設用器具委員会)
- ⑤第30回全日本マスターズ選手権大会について
 - ・全日本マスターズ大会審判編成(審判委員会)
 - ・全日本マスターズ大会実施要項(事務局)

3 その他

○理事会 21年8月10日(月) 18:00 教育会館

1 協議事項

- ①国民体育大会県代表(役員・選手)の選考について
 - ・スタッフは団長、北村肇氏をはじめ13名。選手は成年女子円盤投の室伏由佳選手をはじめ総勢30名。以上承認される。
- ②国民体育大会代表選手の強化合宿について
 - ・第1次合宿…8月25日～26日(半田)
 - ・第2次合宿…9月21日～22日(瑞穂北)
 - ・中長距離合宿…8月25日～28日(長野富士見)
 - 以上強化委員会より提案がありました承される。
- ③読売犬山ハーフマラソンについて
 - ・公認10キロ新設について了承される。
- ④その他

2 報告事項

- ①全国高校陸上競技大会の成績について
 - ・優勝…男子4×100mR 名古屋
 - ・優勝…女子3000m 伊澤菜々花(豊川)
- ②名古屋シティマラソン実行委員会について
 - ・7月10日(金)の実行委員会について報告する。
 - ・会長・河村たかし氏、委員長・加藤常文氏承認される。
- ③勤労者スポーツ大会運営の協力について
 - ・11月7日(土)愛・地球博記念公園にて実施。
- ④愛知駅伝に関する事項について
 - ・12月5日(土)愛・地球博記念公園にて実施。
- ⑤専門委員会報告
 - ・2009年新記録として確認した種目(記録委員会)
 - ・地域代表女性委員会報告(女性委員会)
 - ・ジュニアオリンピック県選抜リレーチームについて(強化委員会)
- ⑥その他 (稲垣 裕)

栄章

おめでとうございます

平成21年7月18日(土)・19日(日)瑞穂公園陸上競技場で、第69回愛知陸上競技選手権大会が実施されました。2日目、メインスタンド前にて、本年度の愛知陸上競技協会会長表彰式が行なわれました。



長年の愛知陸協への貢献が認められ、表彰された方は、次の8名の皆さんです。

森本治郎(尾張支部)	神田邦雄(尾張支部)
花田美明(名古屋支部)	近藤修一(名古屋支部)
植田准次(名古屋支部)	長谷川欽市(名古屋支部)
新見精三(名古屋支部)	石田美智枝(西三河支部)

(稲垣 裕)

お く や み

長年本県の陸上競技発展のため多大なるご尽力をいただきまして、ありがとうございました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

逝去者氏名	逝去年月	支部名
浜島 聖治	21・8	名古屋
飛田 善訓	21・6	西三河

編集後記

◆驚異的な記録を出したボルト選手の感動が今も残る世界選手権も終わり、新潟国体が間近となった。県選手団の大いなる活躍を期待したい。◆今号から「陸上競技めぐり」を特集。皮切りとして知多を掲載。江藤氏に感謝。◆第30回国際・全日本マスターズ愛知大会が終了。年を重ねても競技する多く選手に感動、それを支えた多くの審判・スタッフに大きな拍手を送りたい。多謝!

編集委員

占部 輝之	大久保真理子	大西 敏功	外山 修
中尾 洋一	新美 準人	西垣 完彦	野口 一昭
山本 三郎			